Panasonic®

取扱説明書

MD ステレオシステム

品番　SC-PM300MD

このたびは、MDステレオシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

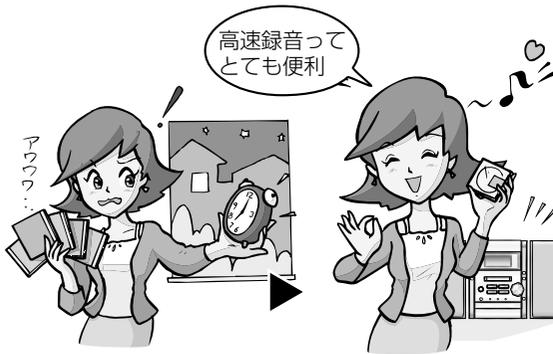
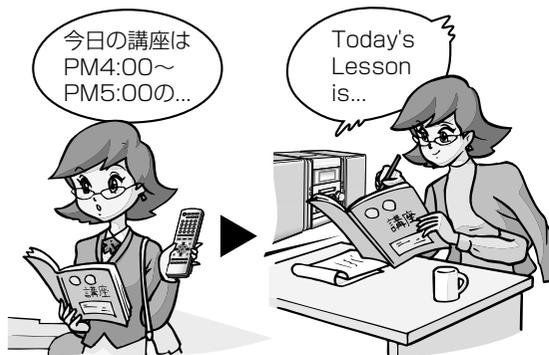
■ この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（4〜6ページ）はご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。** お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

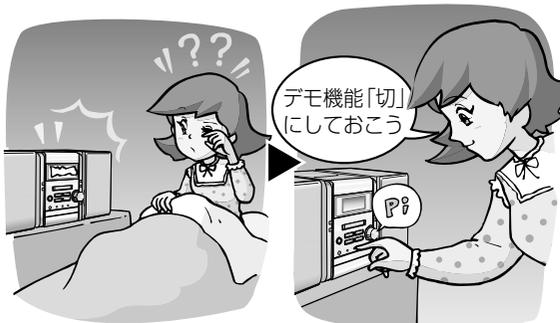
■ 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

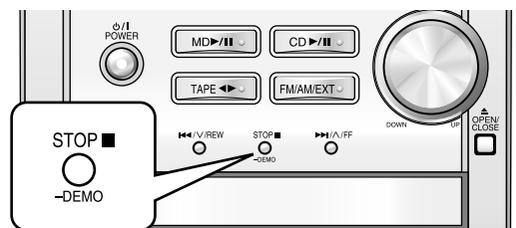
COMPACT disc DIGITAL AUDIO

上手に使って上手に節電　RQT7571-2S

もくじ

電源「切」時の表示部の変化について

電源を切っても、表示部が自動的に点灯することがあります。**(デモ機能)**

●お買い上げ時は、デモ機能が「入」に設定されています。

デモ機能を「切」にするには

STOP ■ –DEMO

デモ機能動作中に
"DEMO OFF"と表示するまで長く押す

DEMO OFF

長く押すたびに
DEMO OFF（切） ⇄ DEMO ON（入）

本機の時計を合わせる（➡ 46ページ）と、デモ機能は自動的に「切」になります。

準　備

聞　く

録　音

もっと使いこなす

もし必要なとき

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

電源コードについて

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］

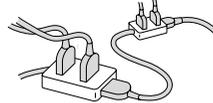
- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- 抜くときは､プラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
  電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

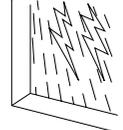
- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

- 感電の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器、電源プラグに触れない

- 感電の恐れがあります。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

⚠ 警告

ご使用について

分解、改造したりしない

分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし異常が起こったら

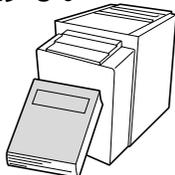
異常があったときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠ 注意

設置・接続について

放熱を妨げない

- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

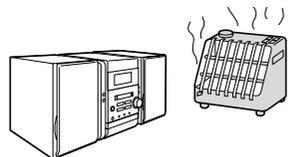
- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

- 強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。
- 設置・工事は販売店にご相談ください。

不安定な場所に置かない

- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- **壁や天井に取り付けない**
- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

スピーカーは付属のものを接続する

- 付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

ご使用について

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

CDトレイの挿入口の奥に手を入れない

指に注意

- 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

付属品/設置/

⚠ 注意

ご使用について

機器に乗らない

- 倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない

- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

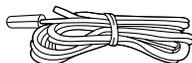
電池について

電池は誤った使い方をしない

- **⊕と⊖は逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

- 長期間使用しないときは、取り出しておいてください。
- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

付属品を確認してください

カッコ【　】内は、買い替え時の品番です。

FM 簡易型アンテナ
（1 本）
【RSA0007-L】

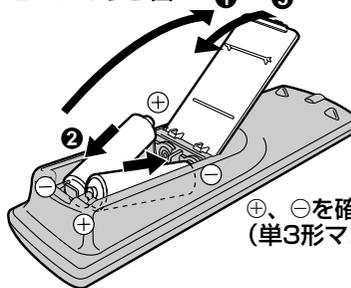
AM ループアンテナ
（1 本）
【N1DAAAA00001】

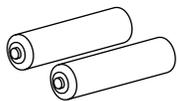
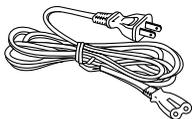
本機はこのように置きます

MDステレオシステム（SC-PM300MD）

- スピーカーは、右、左とも同じ形です。どちらに置いてもかまいません。
- センターユニットとスピーカーは1 cm以上離す。

リモコンはこのように使います

- 乾電池（付属）の入れかた

リモコンの準備

リモコン
【N2QAJB000093】

リモコン用乾電池
（単3形：2 本）

電源コード（1 本）
【RJA0012-K】

お知らせ

●付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。
●付属の電源コードは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。

■ スピーカーについて

スピーカーは防磁設計ではありません。
●パソコンやテレビなどの近くに置く場合は、10 cm以上離してください。

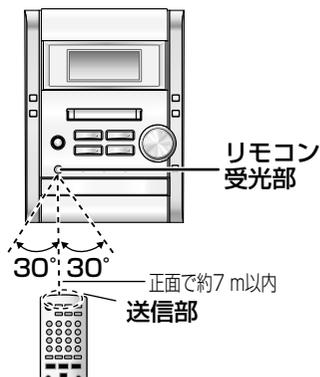
付属のスピーカー以外はご使用になれません。
●他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど正しい特性の音が得られません。

■ より良い音響効果を得るために

●平らで安定した場所に設置する。
●堅い壁やガラス窓には、厚地のカーテンなどを掛ける。
●左右のスピーカーの間隔を広げる。
●壁から5 cm以上離して設置する。

お願い

●大きな音量で連続使用しないでください。スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
●通常の使用時でも以下のような場合は、音量を下げてご使用ください。（音量を下げないと、スピーカー破損の原因になることがあります。）
- 音がひずんだとき
- 音質を調整するとき

● リモコンの使いかた

■ 使用上のお願い

●受光部とリモコンの間に障害物は置かない。
●受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
●受光部と送信部のほこりに注意。

■ 本体をラックに入れて使用するとき

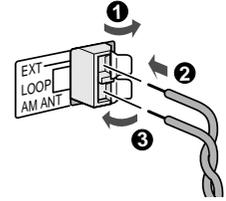
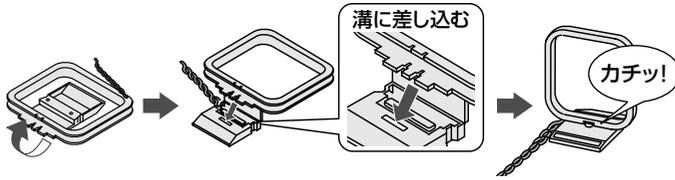
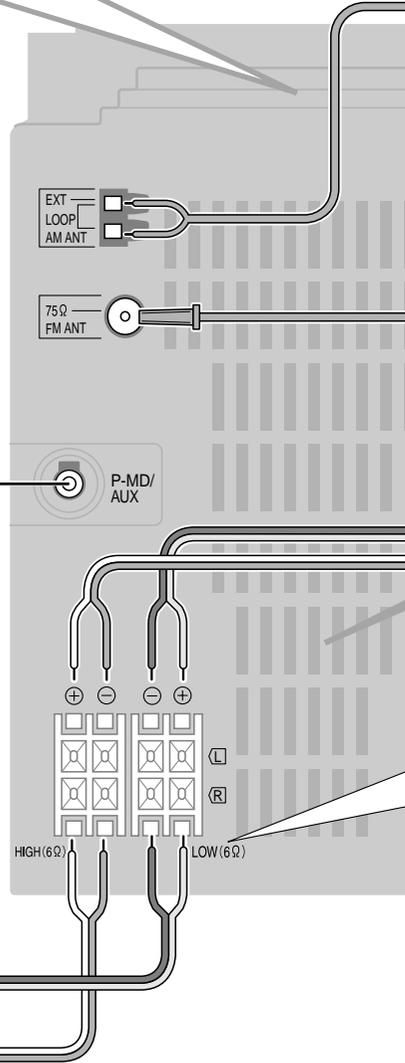
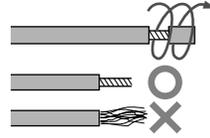
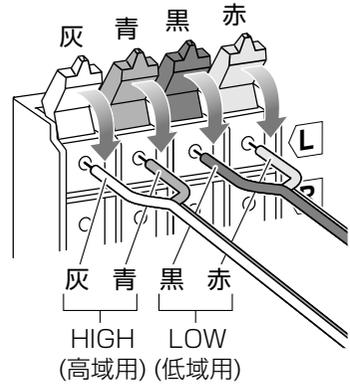
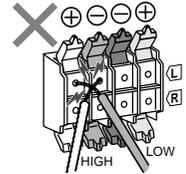
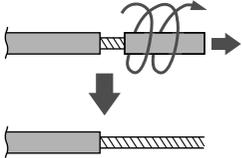
ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

本機を移動するとき

① CD、MD、テープをすべて取り出す。
② [⏻/I POWER] を押して電源を切る。
③ “GOODBYE” の表示が消えてから電源プラグを抜く。

※上記操作を行わないと、故障の原因になることがあります。

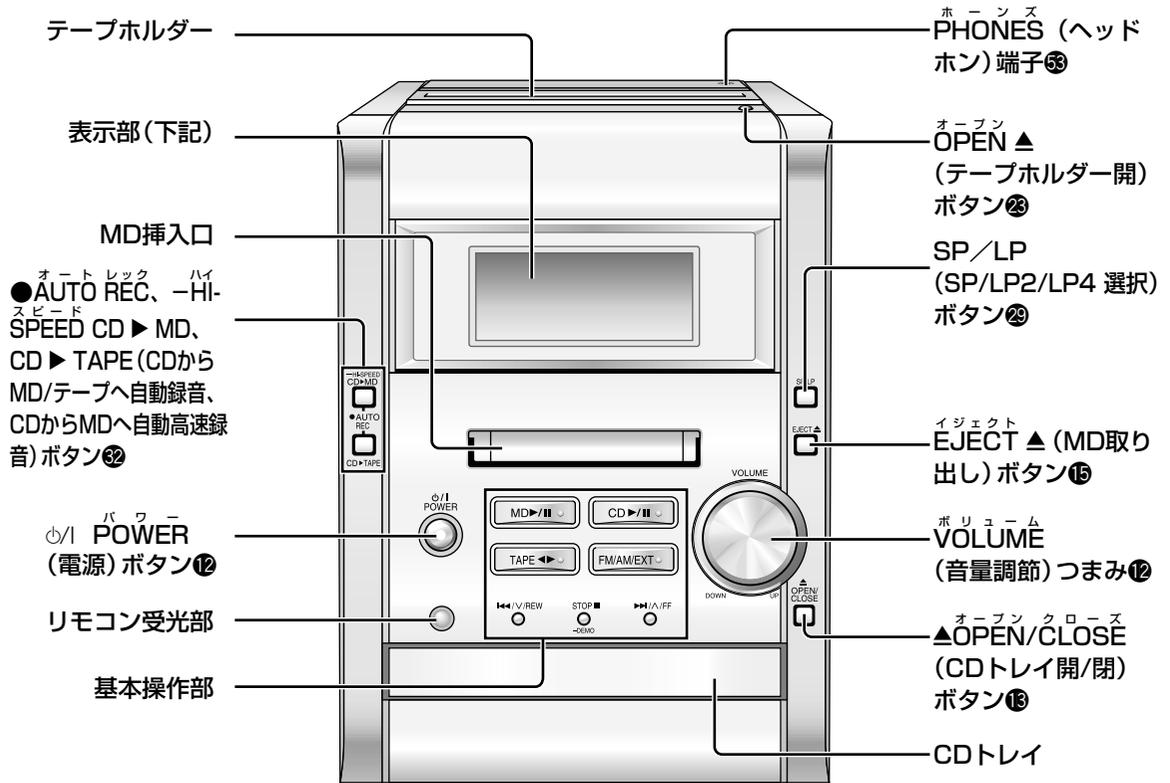
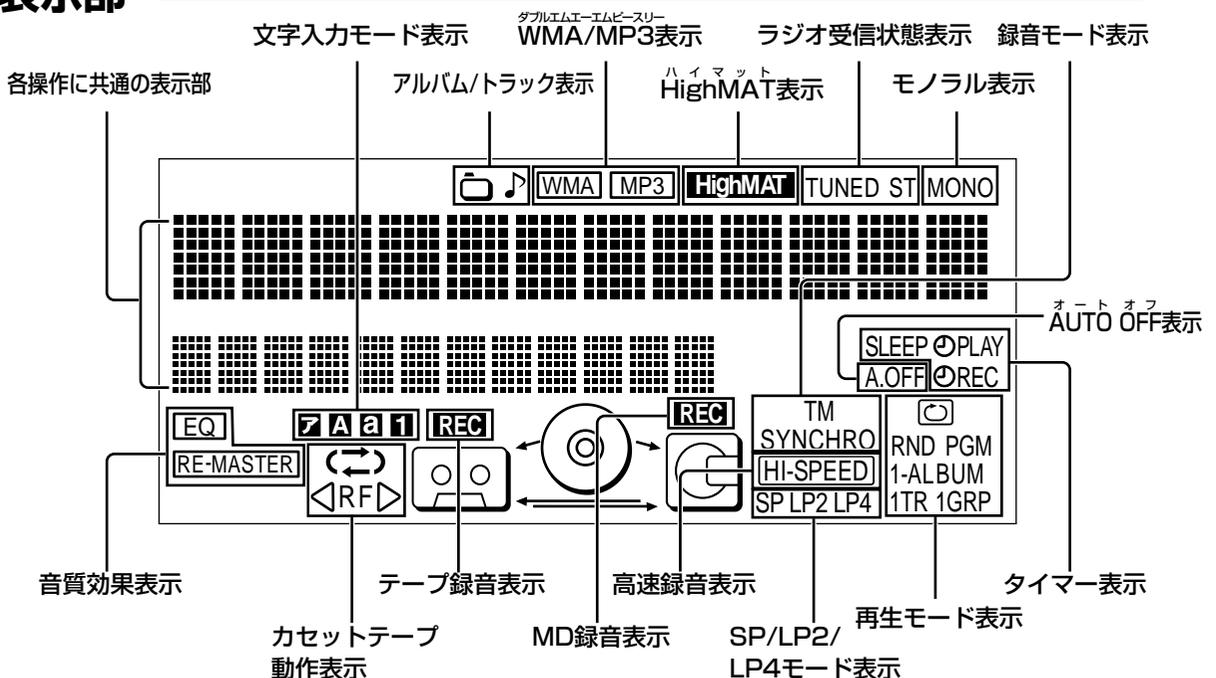
接続のしかた

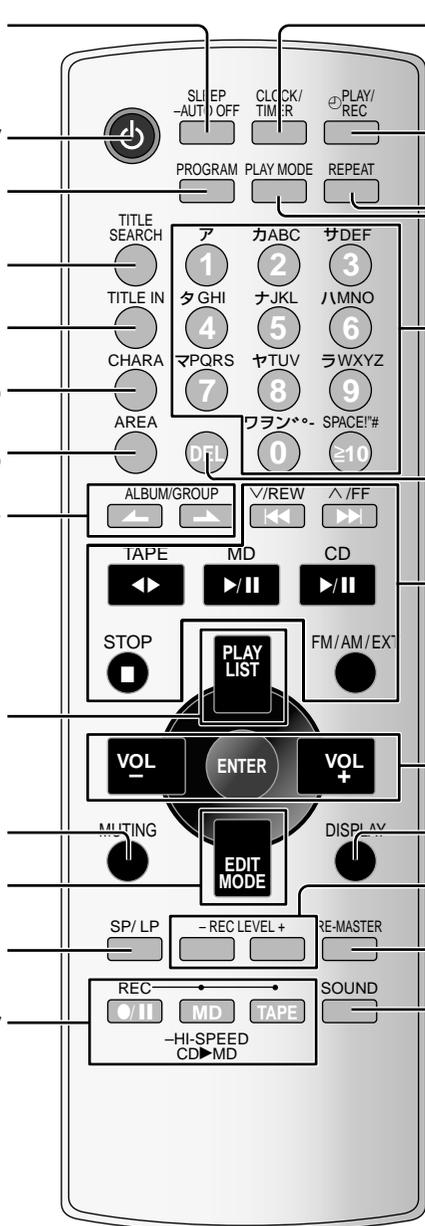
1 AMループアンテナ
つないだあと、実際に放送を受信してみて(➡ 24ページ)、雑音の少ない位置に置きます。
溝に差し込む
カチッ!
EXT
LOOP
AM ANT
❶
❷
❸
こんな機器も
つなげます
ポータブル
MDプレーヤー
●P-MD/AUX端子へ
(➡ 50ページ)
アナログプレーヤー、
テレビなど
●P-MD/AUX端子へ
(➡ 50ページ)
EXT
LOOP
AM ANT
75Ω
FM ANT
P-MD/
AUX
L
R
HIGH(6Ω)
LOW(6Ω)

2 FM簡易型アンテナ
つないだあと、実際に放送を受信してみて(➡ 24ページ)雑音の少ない位置で、壁や柱にテープで止めます。
3 スピーカーコード
① 先端のビニール部分を、ねじりながら抜き取ります。
② 端子のレバーと同じ色のコードをつなぎます。
灰
青
黒
赤
L
灰
青
黒
赤
HIGH
(高域用)
LOW
(低域用)
お願い
●誤った接続をすると、故障の原因になります。
●スピーカーコードをショートさせないでください。回路が破損する恐れがあります。
⊕⊖⊖⊕
L
R
HIGH
LOW
AC IN～
先端のビニール部分を、ねじりながら抜き取る。
4 電源コード
電源コードは最後に接続します。
家庭用電源コンセント
(AC100 V 50/60 Hz)

各部のなまえ

本体

❺❸などの数字は参照ページです。

- テープホルダー
- 表示部（下記）
- MD挿入口
- ●AUTO REC、−HI-SPEED CD ▶ MD、CD ▶ TAPE（CDからMD/テープへ自動録音、CDからMDへ自動高速録音）ボタン❸❷
- ⏻/I POWER（電源）ボタン⓬
- リモコン受光部
- 基本操作部
- PHONES（ヘッドホン）端子❺❸
- OPEN ▲（テープホルダー開）ボタン㉓
- SP／LP（SP/LP2/LP4 選択）ボタン㉙
- EJECT ▲（MD取り出し）ボタン⓯
- VOLUME（音量調節）つまみ⓬
- ▲OPEN/CLOSE（CDトレイ開/閉）ボタン⓭
- CDトレイ

表示部

リモコン

SLEEP、–AUTO OFF (おやすみタイマー、オートオフ) ボタン ㊽㊾
⏻(電源) ボタン
PROGRAM (予約) ボタン⑯
TITLE SEARCH (タイトル検索) ボタン⑱
TITLE IN (タイトル入力) ボタン㊷
CHARA (文字種類選択) ボタン㊹
AREA (エリアバンク) ボタン㉖
ALBUM/GROUP選択ボタン ⑲⑳
PLAY LIST選択ボタン⑳
MUTING (消音) ボタン52
EDIT MODE (編集モード) ボタン㊳㊹
SP/LP (SP/LP2/LP4選択) ボタン㉙
録音操作ボタン
CLOCK/TIMER (時計/タイマー) ボタン㊻
◴ PLAY/REC (タイマー入/切) ボタン㊻㊽
REPEAT (くり返し) ボタン⑱
PLAY MODE (再生モード切り換え) ボタン⑯
1〜0、≧10 (数字) 文字入力ボタン⑬㊹
DEL (文字削除) ボタン㊺
基本操作部
VOL/ENTER (音量/決定) ボタン⑫⑱
DISPLAY (表示切り換え) ボタン⑬52
REC LEVEL (録音レベル選択) ボタン53
RE-MASTERボタン52
SOUND (音質切り換え) ボタン52
SLEEP –AUTO OFF
CLOCK/ TIMER
PLAY/ REC
PROGRAM
PLAY MODE
REPEAT
TITLE SEARCH
TITLE IN
CHARA
AREA
ア
カABC
サDEF
タGHI
ナJKL
ハMNO
マPQRS
ヤTUV
ラWXYZ
ワヲン゛゜-
SPACE!"#
DEL
≧10
ALBUM/GROUP
∨/REW
∧/FF
TAPE
MD
CD
STOP
PLAY LIST
FM/AM/EXT
VOL –
ENTER
VOL +
MUTING
DISPLAY
EDIT MODE
SP/ LP
– REC LEVEL +
RE-MASTER
REC
SOUND
MD
TAPE
–HI-SPEED CD▶MD

CDを聞く

1
CDを入れる
2
再生する
電源
POWER
VOLUME
DOWN
UP
STOP■
-DEMO
音量を調節する
本体
小さくなる
大きくなる
回す
リモコン
小さくなる
大きくなる
押す
押す
VOLUME 20
0
（最小）
50
（最大）

上手に使いこなすには、56ページ「CD について」をお読みください。

OPEN/CLOSE

押してトレイを開けて CDを入れる
(電源が入る。)

▼

もう一度押して 閉じる
(トレイを手で押して閉めない。)

●CDはラベル面を上に、図のように正しく置く。

CDモードになっているときは、
曲数・総再生時間が表示されます。

CD ►/II

押す
1曲目から最終曲まで順に
再生します。

再生中の曲番 再生経過時間
CD 1 0:01

●すでにトレイにCDが入っているときは、手順**2**を行うと、自動的に電源が入り再生が始まります。
(ワンタッチプレイ)

■ 停止する ➡ STOP■ –DEMO 押す

■ 一時停止する ➡ CD ►/II 押す
(再開するには、もう一度押す)

■ 曲を飛ばす
(スキップ) ➡ ⏮/∨/REW ⏭/∧/FF 押す
再生中(または一時停止中)に

■ 早送り/早戻し
(サーチ) ➡ ⏮/∨/REW ⏭/∧/FF 長く押す

■ 残り時間などの情報を見る
リモコン ➡ DISPLAY 数回押す
WMA/MP3の場合、
残り時間は表示されません。

■ CDを取り出す ➡ OPEN/CLOSE 押す
(閉めるには、もう一度押す)

■ **好みの曲から再生する**(ダイレクトプレイ)
リモコン

ア 1 カABC 2 サDEF 3
タGHI 4 ナJKL 5 ハMNO 6
マPQRS 7 ヤTUV 8 ラWXYZ 9
ワヲン゛゜- 0 SPACE!"# ≧10

好みの曲番を押す

選んだ曲から最終曲まで順に
再生します。

●10番以上の選びかた

10以上:
(例) 曲番24 ≧10 → 2 → 4

100以上:
(例) 曲番235 ≧10 → ≧10 → 2 → 3 → 5

聞く

CDを聞く

MDを聞く

1
MDを入れる

2
再生する

電源

音量を調節する

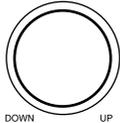
本体

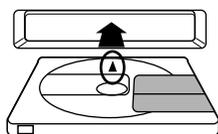
小さくなる　大きくなる

回す

リモコン

小さくなる　VOL − 押す

大きくなる　VOL + 押す

VOLUME 20

0（最小）　50（最大）

録音済みMDを入れる
（電源が入る。）

MDモードになっているときは、
曲数・総再生時間が表示されます。

押す

1曲目から最終曲まで順
に再生します。

●すでにMDが入っているときは、手順**2**を行うと、自動的に電源が入り再生が始まります。（ワンタッチプレイ）

■ 停止する → STOP■ –DEMO 押す

■ 一時停止する →

押す
（再開するには､もう一度押す）

■ 曲を飛ばす（スキップ） →

押す

■ 早送り／早戻し（サーチ） → 再生中(または一時停止中)に

長く押す

■ グループを飛ばす（グループスキップ） リモコン →

押す

■ 残り時間などの情報をみる リモコン →

数回押す

■ MDを取り出す →

押す

■ 好みの曲から再生する（ダイレクトプレイ）
リモコン

好みの曲番を押す

選んだ曲から最終曲まで順に
再生します。

●10番以上の選びかた

10以上：
（例） 曲番24

100以上：
（例） 曲番235

■ MD**LP**（長時間ステレオ録音/再生）について

MD**LP** は音声圧縮技術によって長時間（2倍または4倍）ステレオ録音、再生できる方式です。
録音したときのモード（SP/LP2/LP4）に従って再生します。
再生時には、表示部に次のように表示されます。
● 標準時間録音モードで録音した曲のとき：“SP”
● 2倍長時間録音（ステレオ）した曲のとき：“LP2”
● 4倍長時間録音（ステレオ）した曲のとき：“LP4”

MDLPで録音する （➡ 28ページ）

聞く

MDを聞く

CD/MDの再生方法を選んで聞く

準備：① 電源を入れる。
② CD／MDを入れる。
③ “CD”／ “MD” に切り換える。

●CDを聞くとき…
●MDを聞くとき…
好みの順で聞く

プログラムプレイ

1

停止中に

押す

例：CD

CD 0 0：00
PROGRAM
PGM

1曲だけ聞く

1トラックプレイ

1

停止中に

PLAY MODE

押して
“1-TRACK”を選ぶ

1－TRACK
1TR

押すたびに
元の表示 → **1-TRACK**
↑ ↓
RANDOM ← 1-GROUP

※1-GROUPはグループ編集しているMDでのみ表示

順不同で聞く

ランダムプレイ

1

停止中に

PLAY MODE

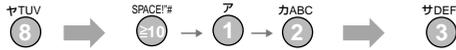
押して
“RANDOM”を選ぶ

RANDOM
RND

押すたびに
元の表示 → 1-TRACK
↑ ↓
RANDOM ← 1-GROUP

※1-GROUPはグループ編集しているMDでのみ表示

ヒント！（8番→12番→3番の順で聞く場合）

ヤTUV 8 ➡ SPACE!"# ≧10 → ア 1 → カABC 2 ➡ サDEF 3

2

好みの曲番を押す

この手順をくり返して予約する（最大24曲まで）

●10番以上の選びかた

10以上：（例）曲番24

≧10 → 2 → 4

100以上：（例）曲番235

3

押す

予約順に再生が始まります。

■ 停止する ➡ STOP （予約内容は保持）

■ 予約内容を取り消す ➡ 停止中に STOP （"PGM CLEAR"表示）

■ 予約を確認する ➡ 停止中に ∨/REW ∧/FF（戻る）（進む）

■ 予約を追加する ➡ 停止中に、手順**2**を行う

■ 解除する ➡ 停止中に PROGRAM "PGM" を消す（予約内容は保持）

● プログラムプレイに戻る ➡ 停止中に PROGRAM ▶ CD/MD ▶/II

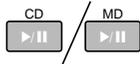
お知らせ

●ディスクを取り出すと、予約内容は取り消されます。
●予約曲を選んで取り消すことはできません。
●プログラムプレイ中のサーチは、MDの場合、予約順に行われ、CDの場合、再生中の曲の中だけで行われます。

2

押して好みの曲番を選ぶ

3

押す

再生が始まります。

■ 解除する ➡ 停止中に PLAY MODE "1TR" を消す

■ 手順 2で数字ボタンを押して曲番を選んでも再生できます。

●10番以上の選びかた

10以上：（例）曲番24

≧10 → 2 → 4

100以上：（例）曲番235

≧10 → ≧10 → 2 → 3 → 5

2

押す

順不同に再生が始まります。

■ 解除する ➡ 停止中に PLAY MODE "RND" を消す

お知らせ

●ランダムプレイ中は前の曲へスキップできません。
●サーチは、再生している曲の中のみです。

CD/MDの再生方法を選んで聞く（つづき）

準備：① 電源を入れる。
② CD／MDを入れる。
③ “CD”／ “MD” に切り換える。

●CDを聞くとき…

●MDを聞くとき…

くり返し聞く

リピートプレイ

REPEAT

押す

REPEAT ON

グループごとに聞く

1グループプレイ

MD

1 **まず、曲をグループにまとめる。**（➡ 38ページ）

停止中に

押して “1-GROUP”を選ぶ

1−GROUP

押すたびに
元の表示 → 1-TRACK
↑ ↓
RANDOM ← 1-GROUP

タイトルを探して聞く

WMA/MP3のファイル名またはMDのトラック名をカタカナ、アルファベット、数字、記号を入力して検索します。

タイトルサーチ

WMA/MP3

MD

1 **停止中に**

押す

TITLE SEARCH

3

押す

検索が始まります。

SEARCH

■ 解除する ➡ REPEAT
（"REPEAT OFF" が表示）

お知らせ

HighMAT（ハイマット）で記録されたディスクをプレイリストに合わせて再生する (➡ 20ページ) 場合、リピートプレイはできません。

2

押して
グループを選ぶ

3

押す

再生が始まります。

■ 解除する ➡ 停止中に PLAY MODE "1GRP" を消す

■ グループを飛ばす（グループスキップ） ➡

2

タイトルを入力する (➡ 44ページ)

大文字、小文字やスペースなどは<u>区別して検索される</u>ので正確に入力します。

例：「ナツ　ベスト」

ナツ　ベスト

正確なタイトルがわからないときは、1文字からでも検索できます。

■ 解除する ➡

お知らせ

- 前回入力したタイトルは記憶されています。不要なタイトルが表示されたときは、[DEL] を押してすべての文字を消してから、新しいタイトルを入力してください。
- 最大12文字まで入力できます。濁点 (゛) や半濁点 (゜) も1文字になります。

該当する曲が見つかると

MD 12 FIND
ナツ ベスト

さらに曲を探すには

押す

前または次の候補の曲が検索されます。

4

押す

検索された曲から再生します。

WMA/MP3を聞く
ダブルエムエー　エムピースリー

パソコンなどで音楽用CD-R/RWに記録したWMA、MP3を再生できます。

CDとしての基本操作（➡ 12ページ）の他に次の聞きかたでも楽しめます。
●アルバムごとに聞く（1アルバムプレイ）
●HighMAT（ハイマット）で記録されたディスクを聞く

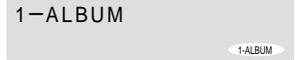
準備：① 電源を入れる。
　　　② CDを入れる。
　　　③ "CD" に切り換える。

CD ▶ STOP

お知らせ
●本機はID3タグに対応していません。
●本機はマルチセッションに対応しています。セッション数が多いと再生が始まるまでに時間がかかることがありますので、セッション数は少なくすることをおすすめします。
●パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。
●MDに録音した場合、MDのトラック名は、WMA/MP3のファイル名が付きます。
●同一ディスクでWMAまたはMP3とCD-DA（通常の音楽CD）の両方の形式が別のセッションに記録されている場合、最初のセッションに使用されている形式のみ再生します。
●最大アルバム数400、トラック数999まで再生できます。
階層の深いフォルダが複数ある場合は、すべてのフォルダやファイルを認識できないことがあります。

アルバムごとに聞く

1アルバムプレイ

1 **停止中に**
PLAY MODE **押して "1-ALBUM"を選ぶ**

1–ALBUM

押すたびに
元の表示 →1-TRACK→**1-ALBUM**→RANDOM→（元の表示）

2 ALBUM/GROUP **押して アルバムを選ぶ**

3 CD **押す**
再生が始まります。

■ **解除する**
停止中に PLAY MODE "1-ALBUM" を消す

■ **アルバムを飛ばす（アルバムスキップ）**
ALBUM/GROUP

お知らせ
サーチはできません。

HighMAT（ハイマット）で記録されたディスクを聞く

プレイリスト：
ディスク内で再生する曲と順序を定めたもの

メニュー：
プレイリストを探すための条件項目

グループ：
プレイリスト内の好みのひとかたまり

1 **確認！ CDを入れる**

HighMAT

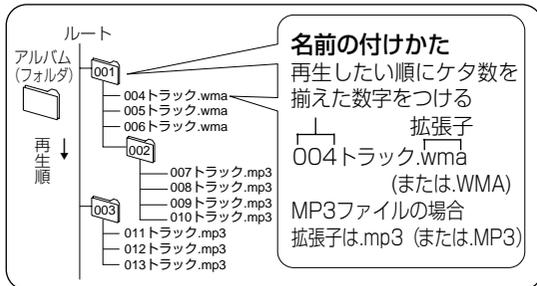
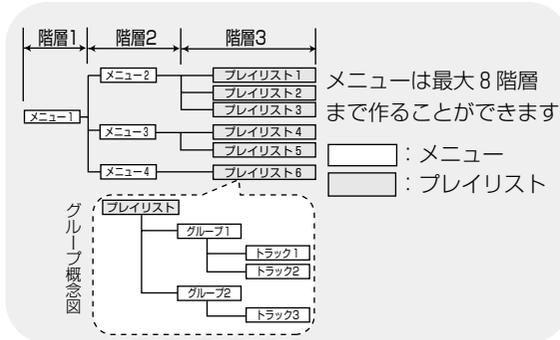
この表示が出ないディスクでは、以降の操作はできません。

 押してプレイリストの探しかたを選ぶ

押すたびに
→ PLAYLIST：好みのプレイリストを探す
↓
MENU：メニューからプレイリストを探す
↓
元の表示：通常のWMA/MP3として再生

メニューやプレイリスト表示中でも変更できます

本機で再生できるファイルを作るには

- 使用できるフォーマット：ISO9660 level 1 および、level 2
- 漢字・ひらがなは、パソコンでは表示されますが、本機では空白となります。パソコンでフォルダやファイル、プレイリスト、メニューに付ける名前は、本機で表示できるように、カタカナ・アルファベット・数字・記号を使ってください。
- WMA/MP3ファイルの作成ソフトの説明書もご参照ください。記録状態により再生できない場合があります。
- 名前の付けかた（➡ 下記）によって、再生順を指定できます。ただし、順番通りに再生できないことがあります。

プレイリスト概念図

WMA/MP3で記録されたCD-R/RWについて

- パソコン等でフォルダやファイルに付けた名前をそれぞれ、アルバム名·トラック名として扱います。
- WMA/MP3ファイルが入っていないフォルダはスキップされます。

WMAの再生について

- **WMAで記録された曲を本機で再生すると、“TRACK PROTECTED”が表示され再生できないことがあります。これは再生しようとした曲が著作権保護されていることを示しています。**
- **著作権保護された曲は、本機では再生できません。**
- **詳しくは、WMAの曲を作成する際に使用したソフトのメーカーにお問い合わせください。**
- **HighMAT（ハイマット）規格に準拠して記録されたディスクの場合も同様です。**

HighMATとは

- HighMAT™規格は、音声/画像/動画のファイルをCD-R/RWに記録するときの新しい管理フォーマットです。
- 本機ではWMA/MP3のオーディオファイルが記録されたディスクを再生することができます。
- HighMATに対応したパソコンソフトでCDを作成するときは、記録するファイルに曲名やアーティスト名などの情報を付けたり、プレイリストの設定なども合わせて収録することができます。
- HighMATで記録されたディスクを作るためには、Windows XPがインストールされたパソコンが必要です。

作成方法については下記ホームページをご参照ください。
http://panasonic.jp/support/

2

- **PLAYLIST（プレイリスト）を選んだとき**

∨/REW ∧/FF **押して好みのプレイリストを選ぶ**

- **MENU（メニュー）を選んだとき**

∨/REW ∧/FF **押してメニューまたはプレイリストを選ぶ**

↕

ALBUM/GROUP **押して階層を移動する**
（➡ 上図「プレイリスト概念図」）

必要に応じてこの操作をくり返してください。

3

CD ▶/II **押す**

選んだプレイリストの内容で再生します。

■ 停止する ➡ STOP

（プレイリスト選択画面が表示）

■ グループを選ぶ ➡ 再生中に ALBUM/GROUP

お知らせ
サーチはできません。

テープを聞く

再生できるテープ

ノーマル ポジション NORMAL POSITION/TYPE Ⅰ	○
ハイ ポジション HIGH POSITION/TYPE Ⅱ※	○
メタル ポジション METAL POSITION/TYPE Ⅳ※	○

※ ハイポジションテープまたはメタルポジションテープは、特性を十分にいかすことができませんが再生することはできます。

まず！

1 テープを入れる

2 再生する

3 リバースモードを選ぶ

電源

音量を調節する

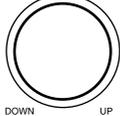
小さくなる　大きくなる

回す

リモコン

小さくなる　大きくなる

押す

押す

VOLUME　20

0（最小）　50（最大）

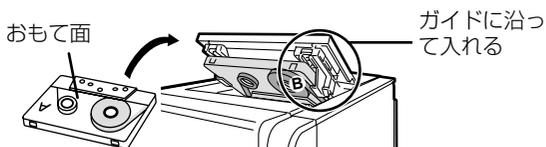
上手に使いこなすには、56ページ「テープ について」をお読みください。

テープのたるみを巻き取ってください。

OPEN ▲

押してホルダーを開け
(電源が入る。)

テープを入れる

手で、ホルダーを押して
閉める

テープ走行方向は、自動的におもて面
“F▷” になります。

押す

再生が始まります。

●すでにテープが入っているときは、手順**2**を行うと自動的に電源が入り、電源を切る前に進んでいた方向で再生が始まります。
(ワンタッチプレイ)

押すたびに
◁R(うら面から再生)
↑ ↓
F▷(おもて面から再生)

リモコン

PLAY MODE

押して
リバースモードを選ぶ

押すたびに

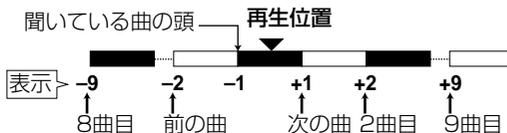
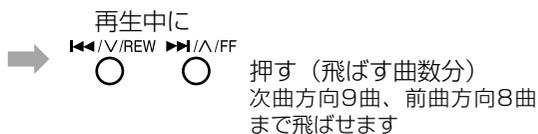
⇄	片面だけ再生して自動停止
⇄)	おもて面 → うら面を再生して 自動停止
(⇄)	両面をくり返し再生

■ 停止する → STOP ■ (–DEMO) 押す

■ 早送り/巻戻し → 停止中に ⏮/∨/REW ⏭/∧/FF 押す

■ テープを取り出す → OPEN ▲ 押す

■ **曲を飛ばす**
(Tape Program Sensor-TPS機能)(テープ プログラム センサー)

再生中に
押す（飛ばす曲数分）
次曲方向9曲、前曲方向8曲
まで飛ばせます

お知らせ

TPS機能は、曲間の約4秒間の無音部を検出して働くため、以下のような場合、正しく動作しないことがあります。

●曲間が短い
●曲間に雑音がある
●曲中に無音に近い部分がある

ラジオを聞く

まず！

1
FM/AMを選ぶ

2
放送局の
探しかたを選ぶ

3
放送局を探す

電源

POWER

FM/AM/EXT

VOLUME

DOWN UP

音量を調節する

本体

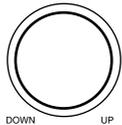
小さくなる VOLUME 大きくなる

回す

DOWN UP

リモコン

小さくなる 大きくなる

VOL − 押す VOL + 押す

VOLUME 20

0
(最小)

50
(最大)

FM簡易型アンテナ/AMループアンテナを必ず接続してください。(➡ 8ページ)
接続しないと放送を受信できません。

FM/AM/EXT

押して
“FM”または“AM”を選ぶ

●自動的に電源が入りラジオに切り換わります。(ワンタッチプレイ)

FM　76.0 MHz

押すたびに
FM → AM → AUX → P-MD → FM

リモコン
PLAY MODE

押して
“MANUAL”を選ぶ

MANUAL

押すたびに
MANUAL ⇄ PRESET

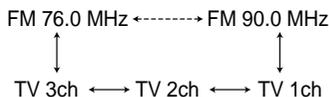
リモコン
∨/REW　∧/FF

押して
周波数を合わせる

● 自動選局する(オートチューニング)
ボタンを長く押して、周波数が動き始めたら指を離す
放送を受信すると止まります。
好みの放送局を受信するまで、
同じ操作をくり返します。

TUNED：正確に受信すると表示
ST　：FMステレオ放送を受信すると表示

FM　88.1 MHz (TUNED ST)
周波数

テレビの受信位置は
FM 76.0 MHz ←→ FM 90.0 MHz
TV 3ch ⟷ TV 2ch ⟷ TV 1ch

■ FMステレオ放送で雑音が気になったら

リモコン
PLAY MODE

“MONO” と表示するまで
長く押す

長く押すたびに
MONO ⇆ 表示なし

FM　88.1 MHz (MONO)

通常は表示なしにしておきます。

お知らせ

- オートチューニング中、周囲に妨害電波があると、放送を受信せずに周波数が止まることがあります。
- 本機の TV 受信回路は、FM 受信回路と兼用しているため、2 または 3ch に FM 放送が混信することがあります。
- うまく受信ができないときは、屋外アンテナを使うのも1つの方法です。(➡ 54ページ)

放送局を記憶させて聞く

放送局をチャンネルに記憶させておくと、
簡単な操作で聞くことができます。
（FM／AM各15局まで）

準備： FM/AM/EXT **“FM”または“AM”を選ぶ**

エリアバンクでは、FM、AMどちらを選んでもかまいません。

エリアバンク（2003年12月現在）

エリア番号	地域名	エリア番号	地域名
1	札幌	21	大津
2	青森	22	奈良
3	秋田	23	和歌山
4	盛岡	24	大阪圏（大阪、神戸、京都）
5	山形	25	鳥取
6	仙台	26	松江
7	福島	27	広島
8	宇都宮	28	山口
9	水戸	29	高松/岡山
10	前橋	30	徳島
11	東京圏（東京、横浜、千葉、さいたま）	31	松山
12	甲府	32	高知
13	松本	33	福岡
14	静岡	34	北九州
15	名古屋圏（名古屋、岐阜）	35	佐賀
16	津	36	長崎
17	新潟	37	大分
18	富山	38	熊本
19	金沢	39	宮崎
20	福井	40	鹿児島
		41	那覇

記憶させる

お住まいの地域を選択する

エリアバンク

エリア番号を指定するだけで、その地域で受信できる主なFM、AMの放送局を一度に記憶できます。

1 AREA **押す**

>11 トウキョウケン
PGM

好みの局だけ記憶させる

マニュアルメモリー

たとえば、エリアバンク指定後の空きチャンネルに、好みの放送局を記憶することができます。

1 PLAY MODE

押して“MANUAL”を選ぶ

MANUAL

押すたびに
MANUAL ⇄ PRESET

3 PROGRAM **押す**

FM 76.1 MHz
PROGRAM ch –
PGM

聞く

記憶させた放送局を聞く

プリセットチューニング

1 PLAY MODE

押して“PRESET”を選ぶ

PRESET

押すたびに
MANUAL ⇄ **PRESET**

2

押してエリア番号を選ぶ
(➡ 左記「エリアバンク」)

エリア番号

>11 トウキョウケン

3

押す

放送局が各チャンネルに記憶されます。

■ 途中で解除する

■ 手順2で数字ボタンを押して、エリア番号を選ぶこともできます。

● 10番以上の選びかた

10以上：(例) 曲番24

2

∨/REW ∧/FF

押して
周波数を合わせる

オートチューニング(➡ 25ページ)を使えば、早く周波数を合わせることができます。

■ 途中で解除する

PROGRAM

4

10秒以内

押してチャンネルを選ぶ

● 10番以上の選びかた

10以上：(例) 曲番12

≧10 → 1 → 2

選んだチャンネルに放送局が記憶されます。
続けて記憶させるには手順**2**から **4**をくり返す。

2

押して
チャンネルを選ぶ

選んだチャンネルの放送局を受信します。

■ 手順2で数字ボタンを押して、チャンネル番号を選ぶこともできます。

● 10番以上の選びかた

10以上：(例) 曲番12

お知らせ

エリアバンクで記憶させたチャンネルを選ぶと放送局名が表示されます。

聞く

放送局を記憶させて聞く

CDをMDに録音（通常/高速録音）

まず！

1
CDを選ぶ

2
CDを入れる

3
LPモードを選ぶ

4
録音する

電源

MDLP（長時間ステレオ録音/再生）について

SP/LP2/LP4モード

SP　：通常ステレオ録音モード
LP2：ステレオ長時間（2倍）録音モード
LP4：ステレオ長時間（4倍）録音モード

録音できる時間の違い

ディスクの種類 ＼ LPモード	SP	LP2	LP4
74分のMDディスク	74分	148分	296分
80分のMDディスク	80分	160分	320分

●本機でLP2またはLP4モード録音した曲は、MD**LP** に対応した機器以外では再生できません。
●LP4モードは、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を実現しているため、ごくまれに雑音が録音されることがあります。
音質を重視する録音を行うときは、SPモードまたはLP2モードをおすすめします。
●カーオーディオが MD**LP** に対応していないときはSPモードで録音してください。

MD を上手に使いこなすには、55ページ「MD について」をお読みください。

準備：録音用MDを入れる。（電源が入る。）
（MDモードのとき、何も録音されていないMDを入れると、“BLANK DISC” と表示されます）

CD ►/❚❚

押して
“CD” を選ぶ

CD NO DISC

▲ OPEN/CLOSE

押してトレイを開けて
CDを入れる

▼

もう一度押して閉じる

CD 17 64:01

SP/LP

押して
SP/LP2/LP4 モードを選ぶ
（➡ 左記「MD**LP** について」）

リモコン

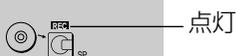
SP/ LP

押して選ぶこともできます。

リモコン

REC ●/❚❚ + MD
–HI-SPEED CD▶MD

同時に押す

高速録音するには長く押す
（“HI-SPEED” が表示）

CD 1 0:01
CD→MD
REC SP
点灯

CDの1曲目から録音が始まります。
（CDの再生が終わると、MDも自動停止）

■ **停止する** ➡ STOP■ –DEMO 押す

“UTOC Writing” の点滅後、録音完了。

■ **一時停止する** リモコン ➡ REC ●/❚❚ + MD –HI-SPEED CD▶MD 同時押し（“REC” が点滅）

CDは一時停止し、MDは録音待機状態になります。
トラックマークが付きます。
（再開するには、もう一度同時に押す）

■ **MDの残り時間を知る** リモコン ➡ DISPLAY 数回押す

(SP/LP2/LP4の各モードによって残り時間も変わります。)

気に入った曲をすぐ録音（CD追っかけ録音）

リモコン

CD再生中に [●/❚❚ REC] を 押しながら [MD] を押す。
曲の初めに戻って録音し、最後の曲まで終わると、MDは自動停止します。
曲の途中から録音する場合は、CDを一時停止し [●/❚❚ REC] を押しながら [MD] を押す。

SCMS CAN'T COPYと表示されたら（アナログ録音について）

CD-RやCD-RWから録音しようとすると、デジタル録音が制限されるために、このメッセージが出ることがあります。
この場合、リモコンの [EDIT MODE] を押して、“ANALOG-REC” にすると、録音できます。
ただし、高速録音（➡ 32ページ）はできません。

お知らせ

- WMA/MP3は自動的にアナログ録音になります。
- WMA/MP3を録音中は一時停止できません。

CDをテープに録音

録音できるテープ

ノーマルポジション NORMAL POSITION/TYPE Ⅰ	○
ハイポジション HIGH POSITION/TYPE Ⅱ	×
メタルポジション METAL POSITION/TYPE Ⅳ	×

● ハイポジションテープ、メタルポジションテープを使うと、本機では正しく録音・消去できません。

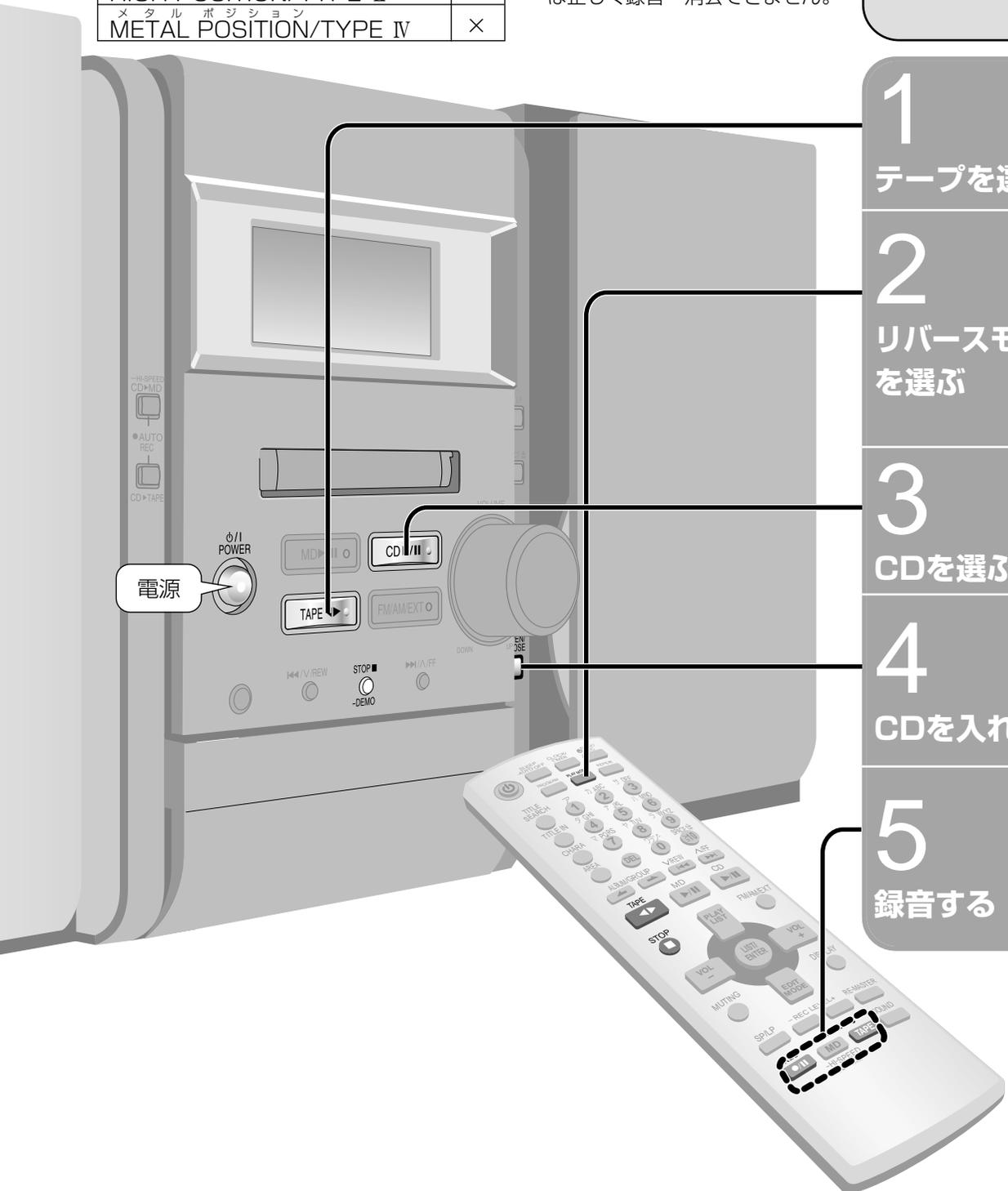
まず！

1
テープを選ぶ

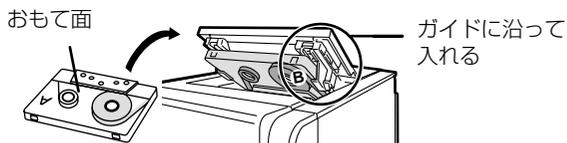
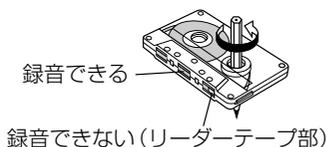
2
リバースモードを選ぶ

3
CDを選ぶ

4
CDを入れる

5
録音する

テープを上手に使いこなすには、56ページ「テープ について」をお読みください。

① リーダーテープ部を巻き取る　② 録音用テープを入れる

押して
（電源が入る。）
"TAPE"を選び

▶ STOP■ –DEMO 押して
停止させる

リモコン

PLAY MODE

押して
テープの
リバースモードを選ぶ

押すたびに

⇄	片面だけ録音して自動停止
⇄ ⇄	おもて面 → うら面を録音して自動停止

CD ▶/II

押して
"CD"を選ぶ

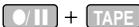
CD NO DISC

押してトレイを開けて
CDを入れる

▼

もう1度押して閉める

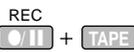
CD 17 64:01

リモコン

●/II + TAPE **同時に押す**

CDの1曲目から録音が始まります。
（CDの再生が終わると、テープも自動停止）

CD 1 0:01
CD→TAPE
REC
点灯

手順**2**で⇄を選んでいても、
⇄に変わります。

■ **停止する**　➡ STOP■ –DEMO　押す

■ **一時停止する**
リモコン
➡ REC ●/II + TAPE　同時押し
（"REC"が点滅）
（再開するには、もう一度同時に押す）

気に入った曲をすぐ録音（CD追っかけ録音）

リモコン

CD再生中に [●/II REC] を押しながら ［ TAPE ］を押す。
曲の初めに戻って録音し、最後の曲まで終わるとテープは自動停止します。
曲の途中から録音する場合は、CDを一時停止し [●/II REC] を押しながら ［ TAPE ］を押す。

テープのうら面に録音

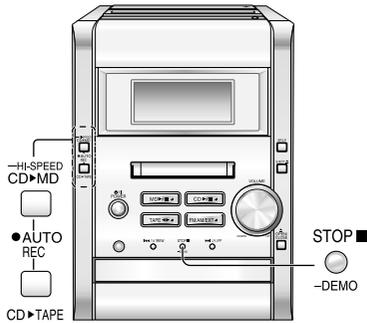
リモコン

テープを入れたあと、下記の操作でテープ走行方向を切り換え、録音します。

① ［ ◀▶TAPE ］を2回押す。
② すぐに［ ■ STOP ］を押す。
　テープの走行方向が "◁R" になります。
③ 上記の手順**2**から行う。

いろいろな録音

準備：① 電源を入れる。
② CDを入れる。
③ 録音用MD／テープを入れる。

●MDに録音するとき…
SP/LP2/LP4モードを選ぶ。
（➡ 29ページ）

CDをMDに高速録音

CDからMDへ最大4倍速（CD-RWは2倍速）で録音します。

CD→MD

リモコン

1

押して"CD"を選び

▼

押す

CDをMDに丸録り

CD→MD

HI-SPEED CD▶MD ●AUTO REC **押す**

高速録音するには
長く押す
（"HI-SPEED" が表示）

AUTO REC
CD→MD

録音が始まります。

CDをテープに丸録り

CD→ テープ

●AUTO REC CD▶TAPE **押す**

AUTO　REC
CD→TAPE

- 自動的にテープを巻き戻し、約10秒間、無音で録音した後、1曲目から録音が始まります。（テープのおもて面から始まります。）
- リバースモードは自動的に"⇄"になります。

■ **停止する** ➡ STOP

■ **MDの残り時間を知る** ➡ DISPLAY 数回押す

2 **停止中に**

REC ●/❚❚ + MD
–HI-SPEED CD▶MD

"HI-SPEED"が表示されるまで長く同時押しする

HI-SPEED

高速録音が始まります。

録音が終了すると高速録音は解除されます。

お知らせ

● **CDからMDに高速録音できる録音の種類**

通常録音 (➡ 28ページ)	○
1曲をねらい録り (➡ 36ページ)	○
CD をMDに丸録り (➡ 32ページ)	○
好みの順に録音 (➡ 36ページ)	×

● WMA/MP3は高速録音できません。
● **高速録音できないときは**
ディスクや条件によっては、4倍速にならない場合や、高速録音できない場合があります。通常の速度で録音してください。
● 高速録音時に音声は聞こえません。

お知らせ

● "LP2" または "LP4" を選んでいる場合、録音されたトラック全部をひとつのグループとして扱います。ただし、UTOCエリアに空きがない場合はグループになりません。
● MDに1曲以上録音できても全曲の録音ができない場合、"REMAINING SHORT" と表示されます。この表示中に、[STOP ■] を押すと丸録りをキャンセルできます。SP/LP2/LP4のモードを変えることで丸録りができる場合があります。
● WMA/MP3を丸録りした場合は、全曲の録音ができない場合でも "REMAINING SHORT" と表示されず、そのまま録音します。

お知らせ

● おもて面の最後で曲が途切れた場合は、うら面にその曲を初めから録音します。
● テープの途中から録音する場合は、録音を始めたい場所までテープをすすめて、通常の録音操作 (➡ 30ページ) をしてください。

高速録音の制限について

この製品の高速録音は、著作権保護を目的としたコピー管理システムを採用しているので以下の制限があります。

本機では、録音スタートから74分経過しないと、同じ曲を高速録音できません。
● 録音を途中で止めたときも、同じ曲を続けて高速録音できません。
● たとえば20分間で録音が終わったときは、あと54分間は、その曲を高速録音できません。(通常の速度での録音はできます。)

一度に100曲まで録音できます。
● 高速録音を始めて、74分以内に100曲の録音が終了した場合、最初に高速録音を始めた時点から74分が経過するまで、101曲目の録音はできません。
● 録音途中で101曲目になった場合、録音が終了します。

さらに高速録音しようとすると "PLEASE WAIT ○○min." (○○は数字) が表示されます。
この場合は、○○分 (○○は数字) 経過してから高速録音してください。

いろいろな録音（つづき）

準備 ： ① 電源を入れる。
② 録音用MD／テープを入れる。

●MDに録音するとき…
SP／LP2／LP4モードを選ぶ。
(➡ 29ページ)

●テープに録音するとき…
テープのリバースモードを選ぶ。
(➡ 31ページ)

■ 停止する ➡ STOP

■ MDの残り時間を知る ➡ DISPLAY 数回押す

ラジオをMDに録音

ラジオ→MD

1 **ラジオ(またはテレビ)放送を受信する**(➡ 24ページ)

ラジオをテープに録音

ラジオ→ テープ

1 **ラジオ(またはテレビ)放送を受信する**(➡ 24ページ)

MDをテープに録音

MD→ テープ

1 MD ▶/II **押して"MD"を選び**
▼
STOP **押す**

2 REC ●/II + TAPE **同時に押す**

録音が始まります。

テープをMDに録音

テープ→ MD

1 TAPE ◀▶ **押して"TAPE"を選び**
▼
STOP **押す**

2 EDIT MODE **押して録音モードを選ぶ**

(➡ 右記「録音モード」)

3 REC ●/II + MD **同時に押す**
–HI-SPEED CD▶MD

録音が始まります。

2

① EDIT MODE **押して 録音モードを選ぶ**
(➡ 下記「録音モード」)

MANUAL

押すたびに
MANUAL ⇄ TIME MARK

② REC ●/II + MD –HI-SPEED CD▶MD **同時に押す**

録音が始まります。

■ **一時停止する** ➡ REC ●/II + MD –HI-SPEED CD▶MD 同時押し
("REC" が点滅)

トラックマークが付きます。
(再開するには、もう一度同時に押す)

お知らせ

●エリアバンクで記憶させた放送局を録音すると、放送局が曲の名前(トラックタイトル)として記録されます。

2

REC ●/II + TAPE **同時に押す**

録音が始まります。

■ **一時停止する** ➡ REC ●/II + TAPE 同時押し
("REC" が点滅)
(再開するには、もう一度同時に押す)

■ **一時停止する** ➡ REC ●/II + TAPE

同時押し
("REC" が点滅)

MDは一時停止し、テープは録音待機状態になります。
(再開するには、もう一度同時に押す)

■ **一時停止する** ➡ REC ●/II + MD –HI-SPEED CD▶MD

同時押し
("REC" が点滅)

トラックマークが付きます。
(再開するには、もう一度同時に押す)

録音モード (MDに録音時)

音源やつないだ機器によって選択できる録音モードは異なります。

MANUAL(マニュアル)	通常の録音モードです。
TIME MARK(タイム マーク)	5分おきにトラックマークが自動的に付くモードです。
SYNCHRO(シンクロ) AUX選択時のみ	接続した機器の再生が始まると、自動的に録音が始まるモードです。 無音の状態が約3秒続くと録音が一時停止し、再生が再開すると録音も再開します。録音開始位置に自動的にトラックマークが付きます。

トラックマーク(➡ 55ページ)の付けかた

録音中に好みの位置で[EDIT MODE]を押すと"TR-MARKING"と表示され、その時点にトラックマークが付きます。

いろいろな録音（つづき）

準備：① 電源を入れる。
② CD／MDを入れる。
③ 録音用MD／テープを入れる。

●MDに録音するとき…
SP/LP2/LP4モードを選ぶ。
（➡ 29ページ）

●テープに録音するとき…
テープのリバースモードを選ぶ。
（➡ 31ページ）

■ 停止する ➡ STOP

■ MDの残り時間を知る ➡ DISPLAY 数回押す

好みの順に録音

プログラム録音

CD→MD
CD→テープ
MD→テープ

1

●CDを録音

CD **押して“CD”を選び**

▼

STOP **押す**

●MDを録音

MD **押して“MD”を選び**

▼

STOP **押す**

1曲をねらい録り

1トラック録音

CD→MD
CD→テープ
MD→テープ

1

●CDを録音

CD **押して“CD”を選び**

▼

STOP **押す**

●MDを録音

MD **押して“MD”を選び**

▼

STOP **押す**

ヒント！（8番→12番→3番の順で録音する場合）

ヤTUV 8 ➡ SPACE!"# ≧10 → ア 1 → カABC 2 ➡ サDEF 3

2

① PROGRAM **押す**

② ア 1　カABC 2　サDEF 3　タGHI 4　ナJKL 5　ハMNO 6　マPQRS 7　ヤTUV 8　ラWXYZ 9　ワヲン゛゜- 0　SPACE!"# ≧10 **好きな曲を押す**

手順②をくり返して予約する（最大24曲まで）

●10番以上の選びかた

10以上：（例）曲番24

SPACE!"# ≧10 → カABC 2 → タGHI 4

100以上：（例）曲番235

SPACE!"# ≧10 → SPACE!"# ≧10 → カABC 2 → サDEF 3 → ナJKL 5

3

●CDを MDに録音

同時に押す

録音が始まります。

●CD／MDを テープに録音

REC ●/II + TAPE **同時に押す**

録音が始まります。

2

① PLAY MODE **押して"1-TRACK"を選ぶ**

1－TRACK

1TR

押すたびに

元の表示 → 1-TRACK

↑　　　　　↓

RANDOM ← 1-GROUP

※1-GROUPはグループ編集しているMDでのみ表示

②

押して好きな曲番を選ぶ

3

■ **解除する** ➡ 停止中に PLAY MODE "1TR" を消す

●CDを MDに録音

REC ●/II + MD –HI-SPEED CD▶MD

同時に押す

高速録音するには長く押す

（"HI-SPEED" が表示）

録音が始まります。

●CD／MDを テープに録音

REC ●/II + TAPE

同時に押す

録音が始まります。

MDを編集する 上手に使いこなすには、55ページ「MD について」をお読みください。

曲順を入れ替えたり、不要な部分を削除したりして、自分だけのオリジナルMDが作れます。(録音用MDのみ)
グループ編集を行ったMDで編集作業を行うと、編集内容に応じて、グループ情報も自動的に更新されます。

準備：
① 電源を入れる。
② 編集したいMDを入れる。
③ "MD" に切り換える。

MD ▶/II ▶ STOP

編集モード

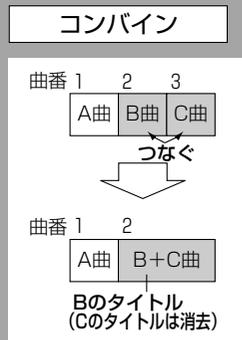
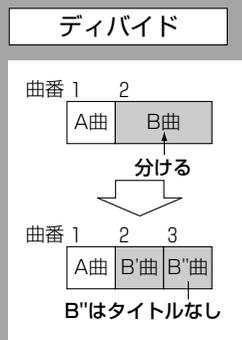
演奏状態（再生・停止）により表示される編集モードは異なります。

TRACK ERASE?	： 数曲を消す
ALL ERASE?	： 全曲を消す
MOVE?	： 曲を移動する
COMBINE?	： 曲をつなぐ
DIVIDE?	： 曲を分ける
TITLE ST.?	： タイトルステーション
GROUP?	： 曲をまとめる

■ 途中で解除する STOP

曲をまとめる

グループ

例：
曲番1から3までをひとつのグループにする

1 停止中に

① **押して "GROUP？"を選び**
(➡ 左記「編集モード」)

GROUP?

 押す

SET?

② ENTER **押す**

曲をつなぐ

コンバイン

1 停止中に

 押して "COMBINE?"を選び
(➡ 左記「編集モード」)

COMBINE?

 押す

曲を分ける

ディバイド

1 分ける曲の再生中に

 押して "DIVIDE?"を選び
(➡ 左記「編集モード」)

DIVIDE?

 分けたい位置で押す

押した位置から約4秒間までを、くり返し再生します。

2

① ∨/REW ∧/FF

押して最初の曲を選び

1 ?～– – –

押す

② ∨/REW ∧/FF

押して最後の曲を選び

1 ～ 3?

押す

3

グループの名前をつける

(➡ 44ページ)

押す

“UTOC Writing” の点滅後、編集が完了します。

■ **グループを解除する**

● **ひとつのグループを解除する**

① 手順**1**-①を行い、[⏮∨/REW ∧/FF⏭]で “RELEASE?” を選び[ENTER]を押す。

② [⏮∨/REW ∧/FF⏭]を押して、解除するグループを選び[ENTER]を2回押す。(“UTOC Writing” が表示)

● **全グループを解除する**

手順**1**-①を行い、[⏮∨/REW ∧/FF⏭]で “ALL RELEASE?” を選び[ENTER]を2回押す。(“UTOC Writing” が表示)

お知らせ

- グループにできるのは、連続した曲(例：1曲目～10曲目)のみです。
- 1曲だけでもグループにできますが、1曲を複数のグループに入れることはできません。
- グループの順番は編集した順番ではなく、曲番の小さい順になります。
- グループは最大99個までつくれます。(UTOCエリアの空き状況により異なります)

2   ∨/REW ∧/FF

押してつなぐ曲を選び

(連続した曲しかつなげません)

2 + 3 ?

押す

2 + 3 ?

↕

PRESS ENTER

3

押す

“UTOC Writing” の点滅後、編集が完了します。

お知らせ

- コンバインは、つなぐ後ろの曲の再生中でもできます。
- 異なるモード(SP/LP2/LP4/長時間モノラル)で録音された曲はつなげません。

2

  ∨/REW ∧/FF

押して正確な位置を調整する

POS +006?

録音時のLPモードによって調整範囲が異なります。

調整範囲 SP ：前後約8秒間
LP2: 前後約16秒間
LP4: 前後約32秒間

数値は –128から +127の範囲で表示されます。

3

押す

“UTOC Writing” の点滅後、編集が完了します。(分けた位置にトラックマークがつきます。)

MDを編集する(つづき)

上手に使いこなすには、55ページ「MD について」をお読みください。

準備：① 電源を入れる。
② 編集したいMDを入れる。
③ "MD" に切り換える。

編集モード

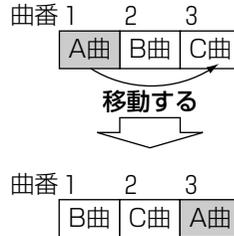
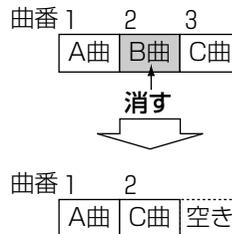
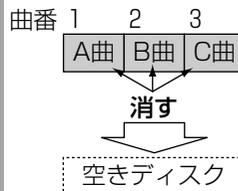
演奏状態（再生・停止）により表示される編集モードは異なります。

TRACK ERASE? ： 数曲を消す
↓
ALL ERASE? ： 全曲を消す
↓
MOVE? ： 曲を移動する
↓
COMBINE? ： 曲をつなぐ
↓
DIVIDE? ： 曲を分ける
↓
TITLE ST.? ： タイトルステーション
↓
GROUP? ： 曲をまとめる

■ 途中で解除する

曲を移動する

ムーブ

曲番 1 2 3
A曲 B曲 C曲
移動する
曲番 1 2 3
B曲 C曲 A曲

1 停止中に

押して"MOVE？"選び
（➡ 左記「編集モード」）

MOVE？

▼

ENTER **押す**

数曲を消す

トラックイレース

1 停止中に

押して"TRACK ERASE？"を選び
（➡ 左記「編集モード」）

▼

ENTER **押す**

全曲を消す

オールイレース

1 停止中に

押して"ALL ERASE？"を選び
（➡ 左記「編集モード」）

▼

ENTER **押す**

ALL ERASE ?
↕
PRESS ENTER

2

① ∨/REW ∧/FF **押して 移動する曲を選び**

1 ?→– – –

押す

② ∨/REW ∧/FF **押して 移動先を選び**

1 → 3 ?

押す

3

押す

“UTOC Writing”の点滅後、
編集が完了します。

お知らせ

ムーブは再生中でもできます。

2

∨/REW ∧/FF **押して 消したい曲を選び**

ERASE 2?

押す

この操作をくり返すことで、
最大24曲まで消すことができます。

最後に選んだ曲 選んだ曲の総数

MD 5 – –04
ERASE 5 ?

↕

PRESS ENTER

3

押す

“UTOC Writing”の点滅後、
編集が完了します。

お知らせ

トラックイレースは再生中でもできます。

2

押す

“UTOC Writing”の点滅後、
“BLANK DISC” が表示さ
れ編集が完了します。

MDにタイトルを付ける

1枚の録音用MDには、最大約1700文字（カナ文字では約半分の文字数）入力できます。
下記タイトルごとに最大100文字（LP2/LP4で録音した曲名の場合は最大97文字）入力できます。
- ディスクの名前（ディスクタイトル）
- グループ名（グループタイトル）
- 曲名（トラックタイトル）

準備：①電源を入れる。
②タイトルを付けたいMDを入れる。
③"MD"に切り換える。

お知らせ

●LP2/LP4で録音したり、グループの設定を行った場合、入力できる文字数は減ります。
●例えば、LP2/LP4で録音した50曲にタイトルを入力する場合、1曲あたり約25文字（カナ文字で約11文字）になります。

再生中または録音中にタイトルを付ける

SPモードで丸録り時は全トラックタイトルを、LP2/LP4モードで丸録り時はグループ/全トラックタイトルをまとめて付けることができます。

1 再生中、丸録り中または通常録音中に

TITLE IN

押す

Ⓐ **LP2/LP4丸録り時：**
グループタイトル入力画面になります。

G 4 TITLE

Ⓑ **再生/通常録音/SP丸録り時：**
トラックタイトル入力画面になります。手順**3**に進みます。

録音済みMDにタイトルを付ける

ディスク/トラックタイトルを付けることができます。

1 停止中に

① TITLE IN

押す

DISC? TITLE

② ∨/REW ∧/FF

押してタイトルの種類や曲番を選ぶ

例：TITLE選択時

TR 2? TITLE

グループタイトルを付ける

1 停止中に

押して"GROUP?"を選び

GROUP?

押すたびに
TRACK ERASE? → ALL ERASE? → MOVE? → COMBINE? → TITLE ST.? → GROUP? → TRACK ERASE?

押す

2 **グループタイトルを入力する**（➡ 44ページ）

押す

トラックタイトル入力画面になります。

3 **トラックタイトルを入力する**（➡ 44ページ）

タイトルを入力しなくても [ENTER] を押すと次のタイトルに進みます。**（丸録り時のみ）**

押す

丸録時はこの操作をくり返してすべてのトラックタイトルを入力する。

タイトル入力が終わると“TITLE WRITE”と表示され、通常の表示に戻ります。

■ 途中で解除する ➡ TITLE IN

ただし、すでに [ENTER] を押して確定したタイトルは残ります。
もう一度 [TITLE IN] を押して最初からタイトル入力／修正できます。

- WMA/MP3をMDに録音した場合、MDのトラック名は、WMA/MP3のファイル名が付きます。
- WMA/MP3を丸録り中にタイトルを付けたい場合は、録音中の曲のみ、タイトルを付けることができます。
- 入力中に録音/再生が終了した場合、入力状態は解除されます。ただし、すでに [ENTER] を押して確定したタイトルや入力途中の文字も含めたタイトルは記録されています。
- 再生中にタイトルを付けた後、文字入力以外の編集はできません。一度、[■ STOP] を押して、“UTOC Writing”の点滅後に行ってください。

2

ENTER **押す**

3

タイトルを入力する
（➡ 44ページ）

押す

“UTOC Writing”点滅後、タイトル入力が完了

- **続けてタイトルを入力する**

手順**1**-②から**3**を行う。

- **入力を終える**

押す

タイトル入力が完了します。

2

▽/REW △/FF **押して“TITLE?”を選び**

押すたびに
SET? ←→ TITLE?
↕ ↕
ALL RELEASE? ←→ RELEASE?

グループが全くない場合は“SET?”しか選べません。

押す

3

押して グループを選び

G 1*NO TITLE

押す

4 **グループタイトルを入力する**
（➡ 44ページ）

押す

“UTOC Writing”の点滅後、編集が完了します。

■ 途中で解除する ➡ STOP

MDにタイトルを付ける（つづき）

準備：① 電源を入れる。
② コピー元のMDをいれる。
③ "MD" に切り換える。

確認しよう！

- ●コピー元とコピー先のMDの曲数が同じときだけコピーできます。
- ●すでにタイトルの入っているMDにタイトルをコピーすると、以前のタイトルはすべて消えます。
- ●演奏専用MDや、未録音のMD(BLANK DISC)は使用できません。

MDにタイトルをコピーする

タイトルステーション

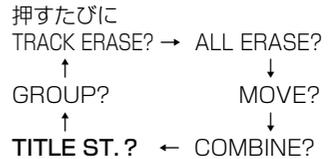
MDのディスク/トラックタイトルを別のMDにそのままコピーできます。

1 **停止中に**

押して "TITLE ST.?"を選び

TITLE ST.?

押すたびに
TRACK ERASE? → ALL ERASE? → MOVE? → COMBINE? → TITLE ST.? → GROUP? → TRACK ERASE?

▼

ENTER **押す**

文字入力のしかた

タイトル入力画面にした後、以下の方法で入力してください。選んだ文字がカーソル部分に入力されます。

1 CHARA **押して文字の種類を選ぶ**

押すたびに

カナ<ア>→英大<A>→英小<a>→数字<1>

続けて同じ種類の文字を入力するときは、この操作は不要です。

2

押して文字を選ぶ

3

押す

文字が確定され、次の文字が入力できます。

2

ENTER 押す

EJECT MD

本体

EJECT ⏏ 押して
MDを取り出す

INSERT MD

3

コピー先のMDを入れる

Writing OK?

↕

PRESS ENTER

ENTER 押す

"UTOC Writing" の点滅後、
タイトルのコピーが完了します。

■ 途中で解除する

STOP
お知らせ

●本機が記憶できるタイトルはMD1枚分で、電源を切ると記憶したタイトルは失われます。
●LP2/LP4で録音された曲をコピー元として使った場合、コピー先の曲がSPで録音されていると、トラックタイトルの頭に"LP:" と表示されます。
●コピー元のディスクが、グループ管理されている場合、グループ管理情報もコピーされます。

文字の種類と各ボタンに割り当てられた文字
各ボタンを押すたびに、1文字ずつ順に表示されます。

	カタカナ ア	アルファベット 大文字 A	アルファベット 小文字 a	数字 1
ア 1	アイウエオ アイウエオ			1
カABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サDEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タGHI 4	タチツテト ッ	GHI	ghi	4
ナJKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハMNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マPQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤTUV 8	ヤユヨ ャュョ	TUV	tuv	8
ラWXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワヲン゛゜- 0	ワヲンー			0

■ 入力を途中で止める

STOP
ただし、すでに [ENTER] を押して確定したタイトルは残ります。

■ ゛ ゜ —を入力する

ワヲン゛゜-
数回押す

濁点(゛)や半濁点(゜)は、表記可能なカタカナの後ろにだけ入力できます。

■ 記号を入力する

SPACE!"#
押すたびに下の順序で記号が現れます。

␣ ! " # $ % & ' ( ) * + , – . / : ; < = > ? @ _ `

␣ は空白を表しています。

■ 入力済みの文字を変更する

ALBUM/GROUP
押して変更する文字にカーソルを合わせる

●文字を訂正する

押して文字を消してから新しい文字を入力する

●文字を削除する

■ 文字の間に新しい文字や空白を入れる

ALBUM/GROUP
挿入位置の右の文字にカーソルを合わせる

●文字を挿入する

新しい文字を入力して

GROUP
●1文字あける

SPACE!"#
押して "␣" を選び

GROUP

時計を合わせる/タイマーを使う

準備：
　時計を合わせる：
　　　電源を入れる。
　おめざめタイマー：
　　　① 電源を入れる。
　　　② 時計を合わせる。

時計を合わせる

例：
土曜日の16時25分（午後4時25分）に合わせる場合

1

CLOCK/ TIMER

押して
“CLOCK – – : – –”を選ぶ

CLOCK
– – : – –

押すたびに
元の表示 → CLOCK → TIMER-PLAY
↑　　　　　　　　　　　↓
時刻表示 ← TIMER-REC ← 時刻表示
(TIMER-REC)　　　　　(TIMER-PLAY)

おめざめタイマーを使う

設定した曜日／時刻に好みの音源を再生します。

例：
金曜日の6:30〜7:40まで好みの音源を再生する場合

1

押して
おめざめタイマー
（TIMER-PLAY）**を選ぶ**

2

①

押して**曜日を合わせ**
（➡ 左記「おめざめタイマーの曜日」）

FRI

CLOCK/ TIMER

押す

3

①

押して
好みの音源を再生する

4

①
PLAY/ REC

押して**“TIMER-PLAY”を選び**

TIMER–PLAY
PLAY

押すたびに
TIMER-PLAY→TIMER-REC→TIMER-REC
　　　　　　　MD REC　　TAPE REC
　　　　　　　（留守録タイマー設定時のみ）
↑
└── TIMER-OFF ──┘

時計の曜日

SUN（日）↔MON（月）↔TUE（火）↔WED（水）
↕　　　　　　　　　　　　　　　　　↕
SAT（土）←→ FRI（金）←→ THU（木）

2

10秒以内
元の表示に戻ったときは、手順**1**からやり直してください。

押して曜日を選び
(➡ 左記「時計の曜日」)

SAT

押す

3

押して時計を合わせて

SAT　16:25

長く押すと時刻表示が連続して変化します。

押す

時計合わせが完了し、元の表示に戻ります。

■ 途中で解除する

■ 時計を確認する

数回押す

お知らせ
- 時計を合わせると、デモ機能は自動的に「切」になります。
- 時計の精度には若干の誤差があります。定期的な時刻補正をおすすめします。
- 本機の時計は24時間表示です。

TIMER−PLAY

押すたびに
元の表示 → CLOCK → TIMER-PLAY
↑　↓
時刻表示 ← TIMER-REC ← 時刻表示
(TIMER-REC)　(TIMER-PLAY)

②

押して
開始時刻を合わせ

ON　OFF
6:30→→ 0:00

押す

③

押して
終了時刻を合わせ

ON　OFF
6:30→→ 7:40

押す

②

音量を調節して

③

STOP

CD・MD・テープは再生を止める

②

押して
電源を切る

電源を切らないとタイマーが動作しません。

設定した曜日/時刻になると、設定した音量までフェードイン(徐々に大きく)して、再生します。
(動作中は、"◴ PLAY" が点滅)
終了時刻になると自動的に電源が切れます。

■ 解除する

"◴ PLAY" を消す

■ 設定内容を変える

① 電源を入れ、[◴ PLAY/REC] を押して、"◴ PLAY" を消す
② 最初からやり直す
(演奏内容だけを変える場合は手順**3**から**4**を行う)

■ 別売り機器を使ってタイマー設定する

手順**3**で [FM/AM/EXT] を押して "AUX" にしたあと、接続した機器を本機と同時刻に動作するように設定してください。

■ タイマー設定後に演奏を楽しむ

- 電源を入れ、通常の再生操作をする
- 音量やソースを変更しても、設定内容には影響しません
- **再生後は、必ず電源を切る**

■ 電源「切」時に設定内容を確認する

■ 好みの曲でタイマー設定する

手順**3**でプログラム (➡16ページ) 予約する。

お知らせ
- おめざめタイマーと留守録タイマーは同時に使えません。
- タイマーは解除しない限り、設定した曜日/時刻に動作します。

使いこなす

タイマーを使う

準備：

留守録タイマー：

① 電源を入れる。
② 時計を合わせる。
③ 録音用MD／テープを入れる。

おやすみタイマー：

電源を入れる。

留守録タイマーを使う

設定した曜日／時刻にラジオ放送などを録音します。

例：
土曜日の18:30〜20:00まで好みの放送を録音する場合

1 CLOCK/TIMER

押して
留守録タイマー
（TIMER-REC）**を選ぶ**

2 ① ∨/REW ∧/FF

押して**曜日を合わせ**
（➡ 左記「留守録タイマーの曜日」）

SAT

▼

CLOCK/TIMER **押す**

3 FM/AM/EXT

押して
"FM"または"AM"を選び

押すたびに
FM → AM
↑　　　↓
P-MD ← AUX

4 ① PLAY/REC

押して
録音先を選び

押すたびに
TIMER-PLAY → TIMER-REC → TIMER-REC
（おめざめタイマー設定時のみ）　MD REC　TAPE REC
↑―――― TIMER-OFF ――――┘

留守録タイマーの曜日

SUN（日）↔ MON（月）↔ TUE（火）↔WED（水）
↕　　　　　　　　　　　　　　　　↕
SUN to SAT（毎日）↔SAT（土）↔FRI（金）↔THU（木）

オートオフを使う

CD、MD、テープの停止中に、ボタン操作のない状態が約10分続くと、自動的に電源が切れます。

SLEEP -AUTO OFF

"A.OFF"が表示されるまで長く押す

A.OFF

■ **解除する**

➡
SLEEP -AUTO OFF
長く押して
"A.OFF" を消す

お知らせ

●一度設定しておくと、電源を切/入してもオートオフ機能が働きます。
●CD、MD、テープモードでのみ設定できます。

TIMER−REC

押すたびに
元の表示 → CLOCK → TIMER-PLAY
↑ ↓
時刻表示 ← **TIMER-REC** ← 時刻表示
(TIMER-REC) (TIMER-PLAY)

②

∨/REW ∧/FF

押して
開始時刻を合わせ

ON OFF
18：30→→ 0：00

押す

③

∨/REW ∧/FF

押して
終了時刻を合わせ

ON OFF
18：30→→20：00

CLOCK/
TIMER

押す

∨/REW ∧/FF

押して
周波数、または チャンネルを 合わせる

MDに録音する場合は必要に応じて設定します。
●SP/LP2/LP4モード(➡ 29ページ)
●録音レベル(➡ 53ページ)
●録音モード(➡ 35ページ)
設定した時点での内容が記憶されます。

●MDに録音

TIMER−REC
MD REC

●テープに録音

TIMER−REC
TAPE REC

② 押して
電源を切る

電源を切らないとタイマーが動作しません。

頭切れ防止のため、設定した曜日／時刻の30秒前になると電源が入り、録音が始まります。
(動作中は、“◴ REC”が点滅)

終了時刻になると自動的に電源が切れます。

■ 解除する

“◴ REC”を消す

■ 設定内容を変える

① 電源を入れ、[◴ PLAY/REC]を押して、“◴ REC”を消す
② 最初からやり直す

■ 別売り機器を使ってタイマー設定する

手順**3**で[FM/AM/EXT]を押して“AUX”にしたあと、接続した機器を本機と同時刻に動作するように設定してください。

■ タイマー設定後に演奏を楽しむ

●電源を入れ、通常の再生操作をする
●音量やソースを変更しても、設定内容には影響しません。
●**再生後は、必ず電源を切る**

■ 電源「切」時に設定内容を確認する

お知らせ

●録音時、音量は自動的に最小になります。
●留守録タイマーとおめざめタイマーは同時に使えません。
●タイマーは解除しない限り、設定した曜日/時刻に動作します。

おやすみタイマーを使う

指定した時間が経過すると再生を停止し、自動的に電源が切れます。

SLEEP
–AUTO OFF

音源を聞きながら 押して 再生時間を選ぶ

SLEEP 30

押すたびに
SLEEP 30→60→90→120→OFF
(単位：分)

■ 解除する

“SLEEP OFF”を選ぶ

■ 残り時間を確かめる

SLEEP
–AUTO OFF
1回押す

■ 残り時間を変える

SLEEP
–AUTO OFF
数回押して、新たに時間を設定する

お知らせ

おやすみタイマーは、おめざめ/留守録タイマーと組み合わせて使えます。常におやすみタイマーが優先するため、組み合わせるときは、予約時間が重ならないようにしてください。

別売り機器を使う

準備：① 電源を入れる。
② 録音用MD／テープを入れる。

●MDに録音するとき…
SP/LP2/LP4モードを選ぶ。
(➡ 29ページ)

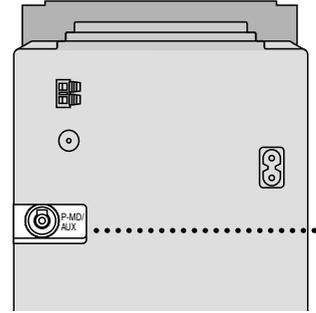
●テープに録音するとき…
テープのリバースモードを選ぶ。
(➡ 31ページ)

■ 停止する ➡ STOP

■ MDの残り時間を知る ➡ DISPLAY 数回押す

音源や録音方法によっては録音時間に誤差が生じる場合があります。

別売り機器をつなぐ

電源を切った状態で接続してください

MDからMDに録音

ポータブルMDプレーヤー（MDネットワーク対応）

本機からポータブルMDをコントロールして、録音やタイトルコピーができます。

1 FM/AM/EXT **押して“P-MD”を選ぶ**

P−MD（ 12Tr）

ポータブルMD側の総曲数

押すたびに
FM → AM → AUX → **P-MD**

ディスクタイトルが付いているときはタイトルも表示されます。

ポータブルMD側は、自動的に、適切な音量・フラットな音質に設定されています。

別売り機器を聞く／本機に録音

- ポータブルMDプレーヤー（MDネットワーク非対応）
- アナログプレーヤー
- テレビなど

1 テレビ、有線放送、CS/BSチューナーの場合は、好みの放送局を受信しておきます。

FM/AM/EXT **押して“AUX”を選ぶ**

押すたびに
FM → AM → **AUX** → P-MD

本機で聞く場合は、ここで別売り機器を再生します。

4 ●MDに録音

同時に押す

●テープに録音

同時に押す

録音が始まります。

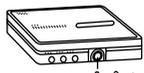
別売り品の品番は、2003年12月現在のものです。品番は変更されることがあります。

ポータブルMDプレーヤー(MDネットワーク対応)

MDネットワークコード※(別売り)

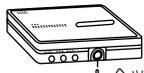
※どちらのMDネットワークコードを使うかは、ポータブルMD側の取扱説明書をご参照ください。

●RP-CAM9G15、1.5 m

●RP-CAMC9G15、1.5 m

ヘッドホン端子

ポータブルMDプレーヤー(MDネットワーク非対応)

ミニ・ミニラインコード(別売り)

RP-CAM3G15、1.5 m

ヘッドホン端子

アナログプレーヤー、テレビなど

オーディオコード(別売り)

RP-CAPM3G15、1.5 m

R L

音声出力端子

アナログプレーヤーを接続する

フォノイコライザー内蔵のプレーヤーが必要です。

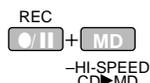
推奨品：当社製アナログプレーヤー
SL-J8（フォノイコライザー内蔵）

SL-J8を本機に接続するには、ピンミニコード（別売り：RP-CAPM3G15）とピンプラグアダプター（別売り：RP-PA66A) が必要です。
本機の P-MD/AUX 端子に接続します。

お手持ちのアナログプレーヤーがフォノイコライザー内蔵でないときは、フォノイコライザー(サービスルート扱い：品番RFKZ0088KIT) が必要です。
そのままつなぐと音が小さくなります。

2

●全曲録音する

REC ●/II + MD
–HI-SPEED CD▶MD

同時に押す

自動的に録音が始まります。
全曲の録音が終わると、
自動停止します。

●1曲ずつ録音する

∨/REW ⏮ ∧/FF ⏭

押して曲番を選び

確認の意味で、選んだ曲が自動的に再生されます。

▼

REC ●/II + MD
–HI-SPEED CD▶MD

再生が始まってから同時に押す

自動的に曲の初めに戻って、
録音が始まります。
1曲の録音が終わると、
自動停止します。

■ MDネットワーク機能について

カタログにこのマークが付いている製品です。

●MDネットワーク対応のMDステレオシステムどうしをつないでも、この機能は働きません。
●タイマーと組み合わせて使うことはできません。
●SP/LP2/LP4の各モードはコピーされません。本機で選んでいるモードになります。
●録音終了後、ポータブル MDプレーヤーは節電のため、約4分後に自動的に電源「切」になります。(点滅表示になります。再度、録音する場合は手順**1**から始めます。)
●録音が終わったら電池の消耗を防ぐためコードを抜いてください。
●次の場合、ディスクタイトルはコピーされません。
  ● 本機側のMDにディスクタイトルやグループ管理情報が入っているとき
  ●1曲ずつ録音したとき

2

FM/AM/EXT

長く押して録音レベルを選ぶ

NORMAL：レベルを変えないとき
↓ ↑
HIGH　：レベルを上げたいとき（ポータブルMDなど信号レベルの低い機器）

3

押して録音モードを選ぶ

(➡ 35ページ「録音モード」)

押すたびに
TIME MARK → MANUAL → SYNCHRO
↑_________________________|

●MANUAL、TIME MARK選択時
録音が始まります。

●SYNCHRO選択時
録音待機状態になります。
接続した機器の再生が始まると、自動的に録音が始まります。

5

別売り機器を再生する

■ 録音レベルを調整する

●ポータブルMDプレーヤーから録音する場合は、まずポータブルMD側で音量を調節する。
●MDに録音する場合は、必要に応じて音源を再生して録音レベルを調整する。(➡ 53ページ)

お知らせ

●テレビ、有線放送、CS/BSチューナーなどの放送局を録音するときや、録音する曲の種類によっては、SYNCHRO録音モードを使うと、曲の最初の部分が録音されなかったり、レベルの低い曲では途中で止まったりすることがあります。
この場合は、MANUALモードで録音してください。

音質・音場効果/便利な機能

好みの音質を楽しむ

イコライザー

PRESET EQとMANUAL EQの2種類があります。

1 SOUND

長く押して“PRESET EQ”または“MANUAL EQ”を選ぶ

PRESET EQ
長く押すたびに
MANUAL EQ ⇄ PRESET EQ

一時的に音を消す

ミューティング

MUTING **押す**

■ 解除する ➡ MUTING

“MUTING”を消す

お知らせ

[VOL−]を押して“0”にしたり、電源を切っても解除されます。

より自然な音質で聞く

リ.マスター

WMA/MP3またはMDの圧縮時に失われた高域信号を再現し、圧縮前の音声に近づけます。

RE-MASTER **押す**

■ 解除する ➡ RE-MASTER

“RE-MASTER”を消す

お知らせ

録音中、リ.マスターは変更できません。

時間やタイトルなどの情報を見る

ディスプレイ

DISPLAY **押す**

押すたびに、いろいろな情報が表示されます。
表示される内容は、現在行っている操作や音源などによって異なります。

2

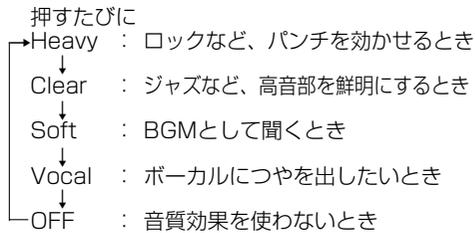
●PRESET EQを使う

SOUND

**押して
好みの音質を選ぶ**

EQ → Heavy

押すたびに

Heavy : ロックなど、パンチを効かせるとき
↓
Clear : ジャズなど、高音部を鮮明にするとき
↓
Soft : BGMとして聞くとき
↓
Vocal : ボーカルにつやを出したいとき
↓
OFF : 音質効果を使わないとき

お買い上げ時の設定は"Heavy"です。

●MANUAL EQを使う

①

SOUND

押して"BASS"(低域)**または"TREBLE"**(高域)**を選ぶ**

BASS 0

押すたびに
BASS→TREBLE→ 元の表示

②

"BASS"または"TREBLE"表示中に押してレベル(±4段階)**を調整する**

録音レベルを調整する

MDに録音して音量に不足を感じる場合などに使用します。

録音元の音源を再生してから
(CD、テープ、ラジオ、別売り機器)

押す

±10 dBの範囲で調整できます。

LEVEL –3dB
----------+

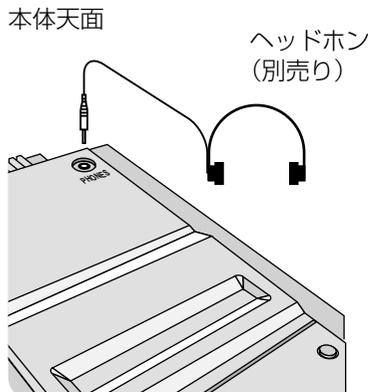
入力レベル 上限ポイント

曲中の最大音量のときに入力レベルが上限ポイントを超えないように調整します。

お知らせ

- ●録音レベルを調整しているとき、スピーカーから聞こえる音は変化しません。
- ●電源を切ると録音レベルは"0 dB"に戻ります。
- ●録音レベル調整のボタン操作のない状態が約10秒間続くと元の表示に戻ります。
- ●上限ポイントを超えると、音がひずんで録音されることがあります。

ヘッドホンを使う

本体天面

ヘッドホン
(別売り)

- ● 接続するときは、音量を下げてください。
- ● 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。
- ● プラグタイプ:ステレオミニ(M3)
- ● 推奨品:RP-HT530、RP-HT242
(ともに別売り)

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

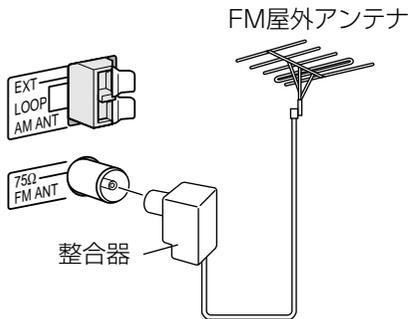
音のエチケット
シンボルマーク

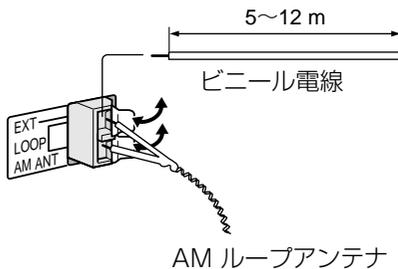
別売り品の品番は、2003年12月現在のものです。品番は変更されることがあります。

屋外アンテナの接続

山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは必要です。

FM（テレビアンテナの利用）

アンテナ線（同軸ケーブル）を整合器（市販）に取り付けて、後面に接続します。
付属の FM 簡易型アンテナは取りはずします。

AM（市販のビニール電線）

付属の AM ループアンテナは取りはずさないで、いっしょにつないでおきます。
窓際などに、水平に設置します。

お手入れ

■本機が汚れたら

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■CD、MDを良い音でお楽しみいただくために

別売りの専用クリーナーで時々清掃されることをおすすめします。
推奨品：
CDレンズクリーナー（品番 RP-CL510）
MDレンズクリーナー（品番 RP-CL310）
MD録音ヘッドクリーナー（品番 RP-CL320）

■テープを良い音でお楽しみいただくために

定期的に市販のクリーニングテープを使って、清掃されることをおすすめします。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問合せ先： (社) 私的録音補償金管理協会
☎ 03-5353-0336

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したMDやテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

支部	電話	支部	電話
本　　部	☎ (03) 3481-2121	静岡支部	☎ (054) 254-2621
北海道支部	☎ (011) 221-5088	中部支部	☎ (052) 583-7590
盛岡支部	☎ (019) 652-3201	北陸支部	☎ (076) 221-3602
仙台支部	☎ (022) 264-2266	京都支部	☎ (075) 251-0134
長野支部	☎ (026) 225-7111	大阪支部	☎ (06) 6244-0351
大宮支部	☎ (048) 643-5461	神戸支部	☎ (078) 322-0561
上野支部	☎ (03) 3832-1033	中国支部	☎ (082) 249-6362
東京支部	☎ (03) 3562-4455	四国支部	☎ (087) 821-9191
西東京支部	☎ (03) 3232-8301	九州支部	☎ (092) 441-2285
東京イベントコンサート支部	☎ (03) 5286-1671	鹿児島支部	☎ (099) 224-6211
立川支部	☎ (042) 529-1500	那覇支部	☎ (098) 863-1228
横浜支部	☎ (045) 662-6551		

Windows Media、Windowsロゴは米国その他の国で米国Microsoft Corporationの登録商標または商標になっています。WMA（Windows Media™ Audio）とは米国Microsoft Corporationで開発された圧縮フォーマットです。これによりMP3より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。

HighMAT、HighMATロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

MPEG Audio Layer 3音声圧縮技術は、Fraunhofer IISおよびTHOMSON multimediaからライセンスを受けています。

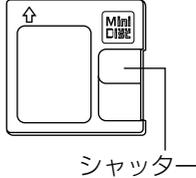
MDについて

MDの種類

■演奏専用MD

録音できません。
ピットという小さなくぼみの有無でデータが記録されています。この方式のMD を「光ディスク」といいます。

■録音用MD

磁気によってデータを記録します。この方式のMDを「光磁気ディスク」といいます。

MDの録音・編集について

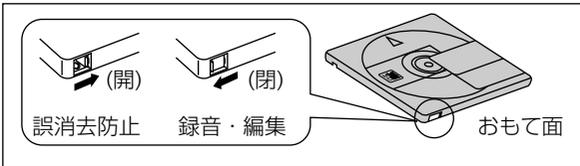
■テープとは違います

録音済みのMDは、自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、テープのように無録音部分を探す必要はありません。
ディスクがいっぱいになったときは、イレース(消去機能)で、いらない曲を消してから録音します。(上書き録音はできません)

■MD 1枚への録音曲数は 、収録時間内で最大254曲までです。

ただし、MDは2秒以下の音声を録音する場合にも約2秒間の領域を使用するため、実際に録音できる時間は少なくなることがあります。

■大切な録音を消さないために

MDの誤消去防止つまみを、穴が開く方向へずらします。新たに録音、編集するときは閉じてください。

■ デジタル録音の制限について

デジタル接続での録音には、SCMS(シリアル・コピー・マネージメント・システム)という制限があります。
CDなどからMDにデジタル録音すると、信号劣化の少ないクリアな録音が得られます。そこで、著作権保護のため、このMDから、さらに別の MDへはデジタル録音できないようになっています。(“コピーのコピー”の禁止。)
なお、アナログ録音には、このような制限はありません。

■録音、編集時のお願い

録音や編集、タイトル入力を行っているときは、機器を振動させたり、電源コードを抜いたりしないでください。“UTOC Writing”の点滅中に電源が切れたり、振動があると、録音・編集・タイトル入力がMDに正しく記録されません。

よく出てくる MD 用語

■トラックマーク

録音部分に記録される“区切り”のことです。ある区切りから次の区切りまでが1曲と数えられます。
トラックマークは録音時に自動的に記録されたり、自分で自由に付けることもできます。
トラックマークを入れることで、1枚のMDに最大254曲まで記録することができます。

■TOC(トック)(Table of Contents)

MDには、音声信号を記録する領域とは別に、曲数や再生時間などを記録する領域があり、そこに書き込まれた内容をTOC情報といいます。

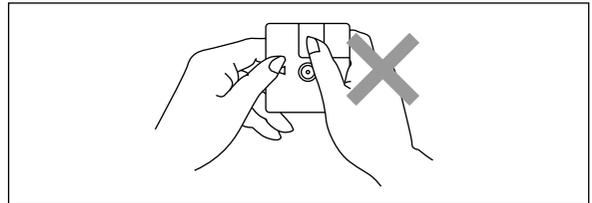
■UTOC(ユートック)(User Table of Contents)

利用者が自由に書き換えられるTOCです。入力した文字や、編集した結果などを記録します。
MDにUTOC情報が書き込まれているとき、“UTOC Writing”と表示され注意を促します。

■MARKING(マーキング)

録音中にトラックマークを記録することです。
本機が曲の変わり目を判断してマーキングします。

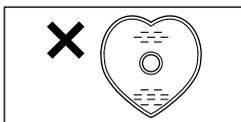
取扱上のお願い

- 指定外の場所にラベルを貼らない
  (また、ラベルやテープの糊がはみ出したり、はがした跡のあるMDは、故障の原因になりますので機器に入れないでください。)
- シャッターは開かない
  (万一開いてしまったときは、すぐに閉じてください。中の円盤には、直接手を触れないでください。)

MDの制約について

症　状	原　因
コンバイン/ディバイド機能が使えないことがある。	部分録音/部分消去をくり返したMDに録音すると、MD上のデータとしては分断されて記録されるため、左記のようなことが起こる場合があります。また、SP/LP2/LP4の異なるモードで記録された曲ではコンバインできません。
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り/早戻しすると、音の途切れることがある。	

CD について

COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったものをご使用ください。

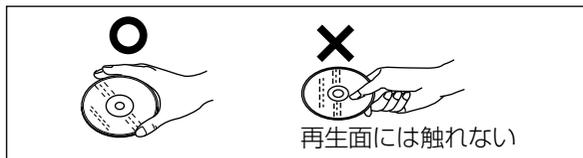
ただし、ハート型など、特殊形状の CD はご使用にならないでください。(機器の故障の原因になります)

上記ロゴマークの入ったものなど、規格に合致したディスクをご使用ください。規格外ディスクを使用すると、正しく再生できない場合があります。

■CD-RとCD-RWの再生について

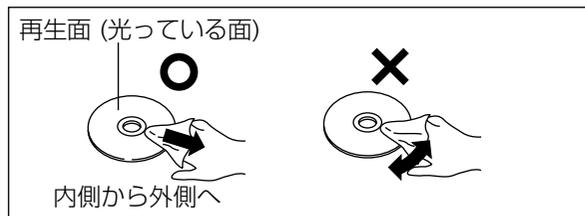
CD-DA、WMAまたはMP3フォーマットで記録されたCD-RとCD-RW再生に対応しています。CD-DAフォーマットの場合は音楽用ディスクを使用し、録音終了時にファイナライズ※が必要です。

ただし、記録状態によって再生できない場合があります。

※ 音楽用CD-R/CD-RW再生対応機器で再生できるように処理すること。

■持ちかた

■汚れたときは

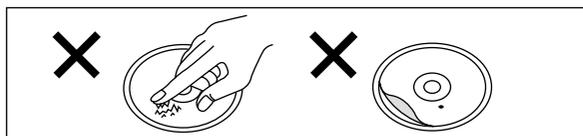
水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

推奨品：クリーニングクロス　VUA7091
（サービスルート扱い）

■ 露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

取扱上のお願い

CDそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない

- 市販のラベルプリンターでディスク面に印刷したCDは使わない

テープについて

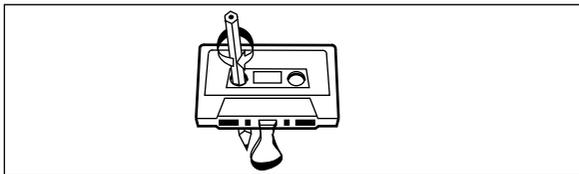
■100分を超えるテープ

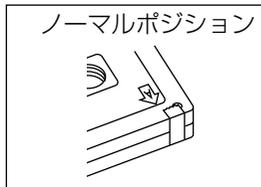
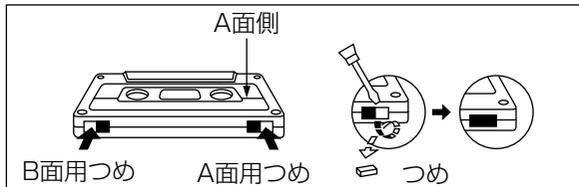
テープが薄いため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しをくり返さないでください。(回転部に巻き込まれることがあります)

■エンドレステープはオートリバース対応のものを

使用方法を誤ると、テープが回転部に巻き込まれます。必ずテープに付いている使用説明をお読みください。

■テープのたるみは巻き取ってください

テープに傷が付いたり、切れたりする原因になります。

■録音したテープを誤って消さないために

ドライバーなどで、つめを折り取ってください。

もう一度録音するにはセロハンテープなどを貼ってください。

■ 録音を消して無音テープを作るには　リモコン

① [◀▶TAPE] を押して、“TAPE” を選び [■ STOP] を押す。
② テープを入れる。
③ [PLAY MODE] を押して、リバースモードを選ぶ。
④ [●/❚❚ REC] を押しながら、[TAPE] を押す。

取扱上のお願い

テープが取り出せなくなったり、音質が損なわれる場合がありますので、次のことをお守りください。

- テープに付属している以外のシール（特に厚みのあるシール）を貼らない
- 指定以外の場所にシールを貼らない

保管(MD/CD/テープ)

■次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

Q&A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
他の機器との接続	手持ちのアナログプレーヤーをつなぎたい	後面の「P-MD/AUX」端子に接続します。 現在アンプの「フォノ」または「プレーヤー」端子に接続している場合は、フォノイコライザーアンプ（サービスルート扱い　品番：RFKZ0088KIT）が必要です。 そのままつなぐと、音が小さくなります。	50
	テレビをつなぎたい	後面の「P-MD/AUX」端子に接続します。 音声のみ本機でお楽しみいただけます。	
	有線放送をつなぎたい	後面の「P-MD/AUX」端子に接続します。	
	他のスピーカーをつなぎたい	付属のスピーカー以外はご使用になれません。 本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより、正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。	—
MD	MDネットワークに対応している機器は？	MD NETWORK カタログにこのマークの付いている製品が対応しています。	51
	MDに長時間録音する方法は？	本体の［SP／LP］を押して“LP2”または“LP4”を表示させます。 あとは、通常の録音操作をしてください。	29
	MDの残り時間を知りたい	残り時間表示になるまで［DISPLAY］を数回押してください。	52
	録音済みMDに上書き録音したい	MDは、テープと異なり、上書き録音はできません。 MDの残り時間が少ないときは、いらない曲をイレースで消してから録音してください。	イレース（➡ 40 ページ）
	録音済みMDの続きに録音したい	自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、そのまま録音してください。 頭出しは不要です。	—
	録音前や録音中に音量や音質を変えたらどうなる？	音量や音質を調節して、スピーカーからの音を変えても、録音される音には影響しません。 ただし、MDの録音レベルを変更すると、録音される音に影響します。	53
	LP2、LP4で録音されたMDはどのプレーヤーでも再生できる？	MDLP に対応していないプレーヤーでは再生できません。曲のタイトルの先頭に“LP:”と表示され、無音で再生されます。	—
その他	ハイポジションテープやメタルテープに録音すると、どうなる？	本機では、正しく録音・消去できません。 前回の録音が、完全に消えないことがあります。ただし、使用しても、機器への支障はありません。	—
	長期間使用しないのだが、どうすれば？	節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。 ただし、再使用時には、放送局の設定など、各種メモリーの再設定が必要です。 本機の各種メモリー（時計をのぞく）は、電源コードを抜いた状態で、約1週間保持されます（タイマーの時刻設定、放送局の設定など）。	—
	再生時の音質を変えたい	イコライザーの設定を変えてみるのも1つの方法です。	52

こんな表示が出たら

表　示	意　味	処　理
BLANK DISC	MDに1曲も録音されていません。	録音にはそのまま使えます。
CAN'T COMBINE	コンバインできません。	MDシステム上の制約です。
CAN'T DIVIDE	ディバイドできません。	MDシステム上の制約です。
CAN'T EDIT	プログラム、ランダム、1トラック、1グループ設定中はMDの編集やタイトル入力できません。	各設定を解除したうえで、編集操作を行ってください。
CD NO DISC	CDが入っていません。	CDを入れてください。
DISC FULL	MDの空き時間が足りません。	不要な曲を消去するか、新しい録音用MDに取り換えてください。
DISC PROTECTED	MDが誤消去防止状態になっています。	録音・編集するには、MDの誤消去防止つまみを閉じた状態にしてください。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生しました。	MDを入れ直して、操作し直してください。
ERROR	操作が違います。	取扱説明書に従って、操作し直してください。
F□□ H□□ （□□は数字を示します）	内部回路に不具合が起きた可能性があります。	1度、電源を入れ直してください。それでも表示が消えないときは、販売店にご相談ください。
GROUP DATA FULL	UTOCエリアに空き領域がないため、グループにまとめたり、ディバイドやムーブができません。	不要なタイトルを消去するか、タイトルを短くしてください。または、1つのグループを解除してください。
EJECT ERROR LOAD ERROR	MDを出し入れしたときに異常が発生しました。自動的に電源が切れます。	MDを一度抜いて、電源を入れ、操作し直してください。
MD F□□ （□□は数字を示します）	MDの読み取りに問題のある可能性があります。	電源を切/入したあと、MDを入れ直してください。それでも表示が消えないときは、販売店にご相談ください。
MD NO DISC	MDが入っていません。	MDを入れてください。
NO PLAY	WMA/MP3の読み取りに問題が発生しました。 WMAディスクで、情報部にJPEGなど大きなデータが入っていると再生できない場合があります。	再生できません。
NO REMAIN	MDに空きのない状態で、CDの丸録りをしようとしました。	不要な曲を消去するか、新しい録音用MDに取り換えてください。
NO TAPE	テープが入っていません。	テープを入れてください。
NO WMA/MP3	CD-ROMディスクでWMA/MP3がありません。	再生できません。
NOT FIND	タイトルサーチで検索したが該当する曲が見つかっていません。	もう1度 [TITLE SEARCH] を押して別の曲名を入力して検索してください。
NOT MP3 ERROR E2/E4	本機で再生できない形式のトラックを再生しようとしました。	トラックはスキップされ、次のトラックが再生されます。
PROGRAM FULL	予約曲数が24曲を超えています。	これ以上の予約はできません。
PlaybackDISC	再生専用MDに録音・編集しようとしました。	録音用MDに取り換えてください。
P-MD（点滅）	MDネットワークで録音終了後、約4分以上ボタン操作がなく放置されています。	MDネットワーク機能を使うには、もう1度 [FM/AM/EXT] を押して"P-MD"を選びます。
P-MD ERROR 動作中（TOC読み込みなどに）	MDネットワークの異常があります。	ポータブルMDプレーヤーの電池残量やコードの接続を確認して、もう1度 [FM/AM/EXT] を押して"P-MD"を選びます。
READ ERROR	WMA/MP3で再生しようとしたトラックが読み取れませんでした。	トラックはスキップされ、次のトラックが再生されます。
SCMS CAN'T COPY	ビデオ CDや CD-ROMなど、MDに録音できない音源を録音しようとしました。	オーディオ用のCDに取り換えてください。
	SCMS（➡ 55ページ）が記録されたCD-RやCD-RWからMDに録音しようとしました。	デジタルでは録音できません。 [EDIT MODE] を押して、"ANALOG-REC"に切り換えてください（➡ 29ページ）。 ただし、高速録音はできません。
SELECT OVER	24曲を超えて消そうとしています。	1回の操作で、これ以上は消せません。何回かに分けて操作してください。

表示	意味	処理
TAPE PROTECTED	テープが誤消去防止状態になっています。	録音するには、テープのつめ部分にセロハンテープなどを貼ってください。
TITLE FULL	この曲はこれ以上タイトル入力できません。	タイトルを短くしてください。
TITLE OVER	タイトルを書き込むだけの空きがない状態で、まとめてタイトルを入力しようとしました。	録音または再生が終了して "UTOC Writing" の点滅後に、つづきを入力してください。
TOC ERROR	WMA/MP3または MDの読み取りに問題のある可能性があります。	電源を切/入したあと、WMA/MP3またはMDを入れ直してください。
	MDに異常があるか、損傷しています。	MDを取り換えてください。
TOC Reading	CDまたはMD のTOC情報を読み込んでいます。	"TOC Reading" 消灯後に操作してください。
TRACK NUMBER NOT EQUAL	曲数の違うMDへはタイトルをコピーできません。	曲数の同じMDに取り換えてください。
TRACK PROTECTED	曲にプロテクト(保護)がかかっています。	MDでは編集・消去していいか、確認してから操作してください。
		WMAではそのトラックをスキップして再生します。
UTOC FULL	タイトルの書き込みまたはグループ編集できるだけの空きがありません。	不要なタイトルを消去するか、タイトルを短くしてください。 またはグループを1つ解除してください。
	254 曲入っているMDで曲をディバイドしようとしました。 (MD1枚の最大曲数は254曲)	不要な曲を消去するか、2曲を1つにつないでください。

主な仕様

センターユニット部(SA-PM300MD)

アンプ部

実用最大出力 (両 ch 動作) : 18 W + 18 W
(全高調波ひずみ率 10 %)
LOW、HIGH 6 Ω 総合出力
LOW : 15 W + 15 W
HIGH : 3 W + 3 W

FM チューナー部

受信周波数帯域 : 76.0 ～ 90.0 MHz(100 kHzステップ)
TV 1 ch、2 ch、3 ch (モノラル)
アンテナ端子 : 75 Ω (不平衡型)

AM チューナー部

受信周波数帯域 : 522 ～ 1629 kHz(9 kHzステップ)

カセットデッキ部

トラック方式 : 4トラック、2チャンネル
ヘッド
録音/再生 : パーマロイ
消去 : ダブルギャップフェライト
モーター : DCサーボモーター
録音方式 : ACバイアス 100 kHz
消去方式 : AC消去
テープ速度 : 秒速4.8 cm

CD部

サンプリング周波数 : 44.1 kHz
量子化 : 16 ビット直線
光源 : 半導体レーザー
波長 : 780 nm
チャンネル数 : 2 チャンネル(ステレオ)
ワウ・フラッター : 測定限界以下
デジタルフィルター : 8 fs
D/A コンバーター : MASH(1 ビット DAC)
CD-R、CD-RW再生可
WMA、MP3再生可
対応ビットレート : WMA 40 kbps～192 kbps
MP3 32 kbps～320 kbps
HighMAT対応

MD部

形式 : ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式 : 磁界変調オーバーライト方式
読取方式 : 半導体レーザー(λ=780 nm)による非接触光学式
サンプリング周波数 : 44.1 kHz
圧縮/伸張方式 : ATRAC/ATRAC3(MDLP)方式
チャンネル数 : 2 チャンネル(ステレオ)
ワウ・フラッター : 測定限界以下
録音再生時間(ステレオ)
80分 MD使用 : 80分 (SP)、160分 (LP2)、320分 (LP4)

その他

高速録音 (CD→MD) : 最大4倍速
74分CD時、約23分で録音

本体総合

電源 : AC 100 V 50/60 Hz
消費電力 : 48 W
寸法(幅 × 高さ × 奥行) : 165 × 227 × 320 mm
質量 : 約4.2 kg

電源スタンバイ時の消費電力 : 約0.4 W (DEMO OFF時)

スピーカー部(SB-PM300)

形式 : 2ウェイ2スピーカーバスレフ型
ウーハー : 10 cmコーンタイプ
ツイーター : 6 cmコーンタイプ
インピーダンス
LOW : 6 Ω
HIGH : 6 Ω
許容入力 (IEC)
LOW : 15 W(MAX)
HIGH : 3 W(MAX)
出力音圧レベル : 80 dB/W(1.0 m)
クロスオーバー周波数 : 3.5 kHz
再生周波数帯域 : 53 Hz～22 kHz(-16 dB)
61 Hz～20 kHz(-10 dB)
寸法(幅 × 高さ × 奥行) : 143 × 227 × 220 mm
質量 : 約1.8 kg

注) 1 この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
2 全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザーによる第 10 次高調波までの総和です。

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

故障かな！？

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

長時間使用すると、本体が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

	こんなときは	ここをご確認ください	処　理	参照ページ
表示部	電源を切っているのに表示部が点灯して、次々と変化する。	デモ機能が働いていませんか。	デモ機能を「切」にする。 時計を合わせる。	2・46
システム全体に共通	電源が入っているのに音が出ない。	スピーカーコードの先端のビニール部分を抜いてから接続しましたか。	スピーカーコードを正しく接続する。	8
		スピーカーコードがはずれていませんか。		
	音の位置が定まらない。 左右の音が逆になる。	本機のスピーカーコードの⊕⊖、別売り機器のコードの左右を逆に接続していませんか。	スピーカーコード、別売り機器のコードを正しく接続する。	8・50
	再生中に「ブーン」という音がする。	接続コードの近くに電源コードや蛍光灯がありませんか。	電気器具を本機からできるだけ離す。 電源コードを逆に差しかえてみる。	—
	再生中に音が出なくなった。	スピーカーコードの⊕、⊖がショートしていませんか。	電源を切り、正しく接続し直して電源を入れる。	9
ラジオ	FM放送がうまく受信できない。	送信所が遠くありませんか。	簡易型アンテナの場合は、テレビアンテナを利用してみる。	54
	AM放送がうまく受信できない。	近くに大きなビルや、山がありませんか。	屋外アンテナを利用してみる。	
	雑音、ひずみが多い。 "ST" が点滅する。	アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。	付属のアンテナの向きや位置を変えてみてください。屋外アンテナを使うのも一つの方法です。	8・54
		テレビ、ビデオデッキ、パソコン、BSチューナーなどの電源が入っていませんか。	本機と各機器との距離を離すか、各機器の電源を切る。	—
		近くで携帯電話の充電をしていませんか。		
		アンテナ線が電源コードに接近していませんか。	アンテナ線と電源コードを離す。	
リモコン	リモコン操作ができない。	乾電池の⊕、⊖が逆になっていませんか。	⊕、⊖を正しく入れる。	6
		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。	
CD	CDを入れても、表示部が変わらない。 再生ボタンを押しても再生が始まらない。	規格外のCDを使用していませんか。	規格のCDと取り換える。	56
		寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。 約1時間待ってから使用する。	—
	特定の個所が正常に再生しない。	CDが汚れていませんか。	柔らかい布でふく。	56
	1曲しか録音できない。	1-TRACKモードになっていませんか。	[PLAY MODE] を押して、1-TRACKモードを解除してください。	37
	高速録音時に音飛びやMDにノイズが記録される。	ディスクの表面に傷や指紋が付いていませんか。	傷が付いている場合はCDを交換してください。 指紋は柔らかい布でふいてください。きれいに拭いたあと通常の速度で録音を行うと改善される場合があります。 CD-R/RWでは、記録状態によっては録音できないことがあります。	—
	CD-R/RWから録音できない。			

	こんなときは	ここをご確認ください	処　理	参照ページ
MD	MDを入れても、自動的に引き込まれない。 MDを入れるのに、かなりの力がいる。	排出動作中のMDに、無理な力を加えませんでしたか。	電源を入れ直す。	—
	再生できない。	寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。約1時間待ってから使用する。	
	録音・編集ができない。	誤消去防止状態になっていませんか。	MDの誤消去防止つまみを閉じる。	55
	タイトルが入力できない。			
	MDのタイトルや曲名が出なかったり、表示が途切れたりする。	MDに記録できる文字数を超えていませんか。（文字数には制限があります。）	文字数の少ないタイトルに付け直す。	44
	MDを入れても “TOC Reading” が点滅したままで、操作ができなくなる。 また、この状態で [EJECT ▲] を押しても、MDが出てこない。	ＭＤのＴＯＣ情報読み込み中に異常が発生しました。	① [⏻/I POWER] を押す。しばらくするとカチッと音がして完全に電源が切れます。 ② 電源を入れ、すぐ [EJECT ▲] を押す。MDが出てきます。（出てこないときは、手順 ① ② をくり返す） ③ MDを取り換える。 異常が再発するときは、販売店にご相談ください。	—
	高速録音ができない。	録音開始から74分間経過せずに同じ曲を録音しようとしませんでしたか。	74分待ってから録音する。	32・33
	ディスクタイトルの表示がおかしい。	グループ機能未対応機種でタイトル入力や編集作業を行いませんでしたか。	本機で入力をやり直してください。	42
	ディスクタイトルが正しく表示されない。	—	本機でグループ編集を行ったMDを、グループ編集未対応の機種で再生するとディスクタイトルが正しく表示されません。	—
	LP4モードで録音された曲で若干の音漏れが生じる。		LP4モードで録音された曲をつなげたり、分けた部分は若干の音漏れを生じることがあります。	
テープ	音が途切れる、雑音が多い。	ヘッドが汚れていませんか。	ヘッド部を清掃する。	54
	録音状態にならない。	録音用のつめを折っていませんか。	つめを折った部分にセロハンテープを貼る。	56
	録音が少し途切れる。	—	テープのおもて面からうら面に切り換わるときに、録音は少し途切れます。 片面ずつプログラム録音してみるのも1つの方法です。	36
	テープが取り出せない。		AM放送をMDに録音または録音待機中はテープを取り出せません。停止後に行ってください。	—
その他	タイトルサーチできない。	プログラムまたはランダムプレイを設定していませんか。	解除してから行ってください。	16
	WMA/MP3ディスクでタイトルが表示されない。	本機で表示できない文字（ひらがな、漢字等）で付けていませんか。	パソコンでフォルダやファイルに名前を付けるときは、本機で表示できる文字（カタカナ、アルファベット、数字、記号）で付けてください。	21
	WMA/MP3ディスクが正しく読み込まれない。	マルチセッションでディスクを作成している場合、セッションの終了処理をしましたか。	セッションの終了処理を行ったWMA/MP3ディスクを使用してください。	—
		1セッションあたりのデータ量が小さくありませんか。	1セッションのデータ量を約5 MB（3分程の曲で約2曲分）以上にしてください。	

保証とアフターサービス （よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社はこのMDステレオシステムの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき

60～61ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
製品名	MDステレオシステム	お買い上げ日	年　月　日
品　番	SC-PM300MD	故障の状況	できるだけ具体的に

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**
FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル／パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
  呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地域	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	住所	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地域	住所	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	住所	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	住所	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

地域	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地域	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0903

さくいん

Panasonic®　MDステレオシステム　SC-PM300MD　取扱説明書

愛情点検　長年ご使用のMDステレオシステムの点検を!

こんな症状はありませんか	● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 音が出ないことがある ● 正常に動作しないことがある ● 商品に破損した部分がある ● その他の異常や故障がある

このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

販売店名	☎（　　）　–	品番	SC-PM300MD
お客様ご相談窓口	☎（　　）　–	お買い上げ日	年　月　日

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ
〒571-8505 大阪府門真市松生町 1 番 4 号

RQT7571-2S
H0104KM2054